

令和6年度
公益財団法人神戸市民文化振興財団
事業概要

文化スポーツ局

目 次

I	神戸市民文化振興財団設立の趣旨	1
II	神戸市民文化振興財団の概要	
1	名 称	2
2	設 立 年 月 日	2
3	所 在 地	2
4	基 本 財 産	2
5	機 構	2
6	職 員 数	3
7	役 員 等	4
III	定 款	5
IV	令和5年度事業報告	
1	概 要	11
2	事業の実施状況	14
3	令和5年度決算	
(1)	事業別収支計算書	42
(2)	正味財産増減計算書	43
(3)	貸借対照表	44
(4)	財産目録	45
(5)	事業別収入明細書	46
(6)	事業別支出明細書	47
(7)	財務状況の推移	48
V	令和6年度事業計画	
1	概 要	49
2	事業計画	52
3	経営改善の取り組み	71
4	令和6年度予算	
(1)	事業別収支予算書	74
(2)	予定正味財産増減計算書	75
(3)	予定貸借対照表	76
(4)	事業別予定収入明細書	77
(5)	事業別予定支出明細書	78
VI	令和5年度主要事業計画・実績比較表	79
VII	主要事業の推移(令和元年度～令和5年度)	80

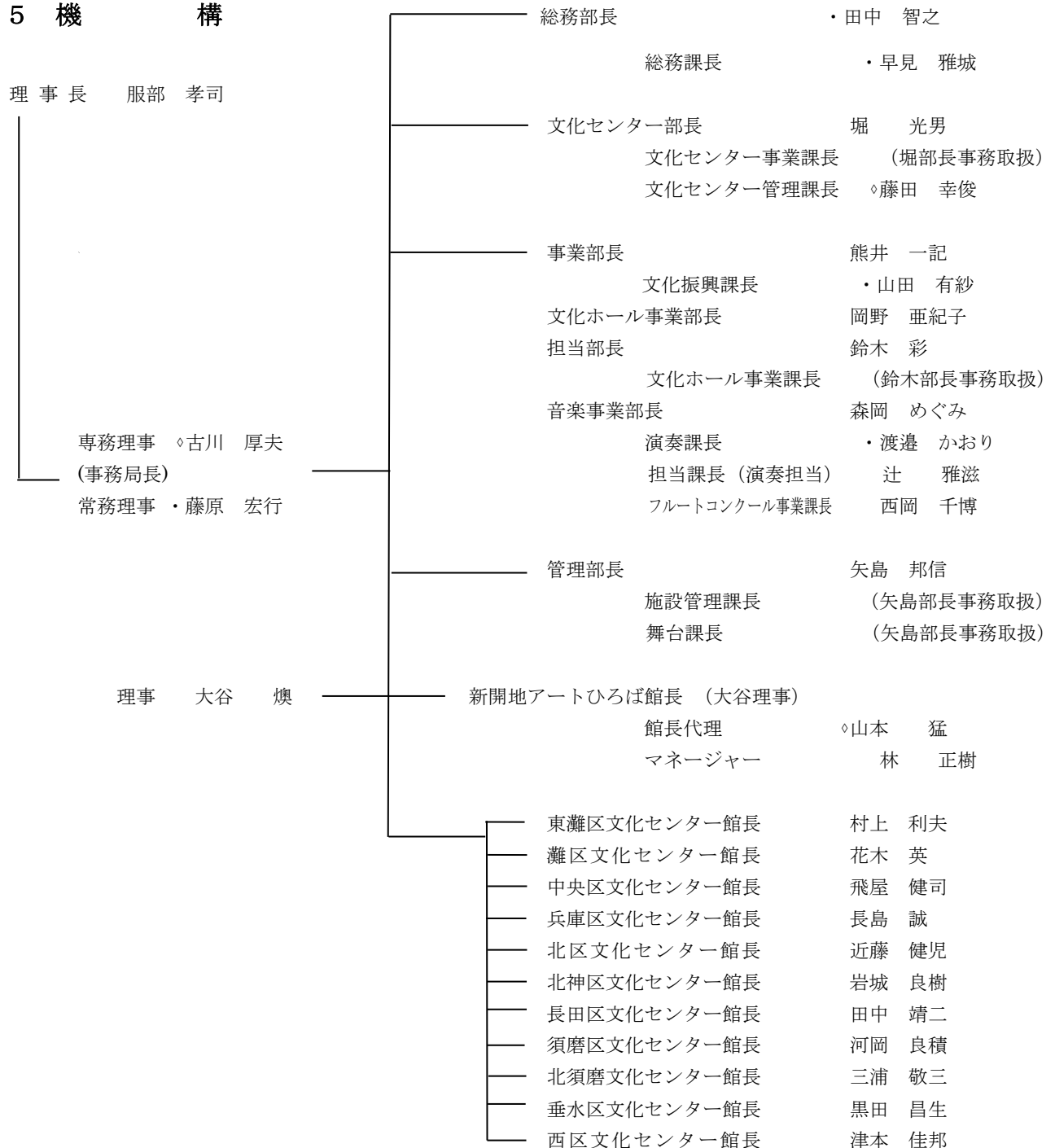
I 神戸市民文化振興財団設立の趣旨

心の豊かさを内包した生活の質向上を求めようとする市民の幅広い多様な文化的欲求に対応し、神戸文化を育て、自由な発想にもとづく文化活動の豊かな展開をすすめるため、神戸市民文化振興財団を設立したものである。

II 神戸市民文化振興財団の概要

- 1 名 称 公益財団法人 神戸市民文化振興財団
- 2 設立年月日 設立許可 昭和 57 年 10 月 1 日
 設立登記 昭和 57 年 10 月 1 日
 公益財団法人移行登記 平成 24 年 4 月 1 日
- 3 所在地 神戸市中央区楠町 4 丁目 2 番 2 号
- 4 基本財産 216,910 千円（神戸市出捐 100,000 千円 46.1%）

5 機 構



(注) ・は神戸市派遣職員、◊は神戸市 OB 職員

6 職員数

(令和6年7月1日現在)

所 属	理事長	専務理事 事務局長	常務理事	部 長 ・ 館 長	課 長	係 員	計
総 務 部	1	1	1 (1)	1 (1)	1 (1)	10	15 (3)
文化センター部				1	1	5	7 (0)
事 業 部				4	4 (2)	17 (1)	25 (3)
管 理 部				1		7	8
新 開 地 アートひろば				1	1	10	12
東 灘 区 文 化 セ ン タ ー				1		2	3
灘 区 文 化 セ ン タ ー				1		1	2
中 央 区 文 化 セ ン タ ー				1		2	3
兵 庫 区 文 化 セ ン タ ー				1		1	2
北 区 文 化 セ ン タ ー				1		2	3
北 神 区 文 化 セ ン タ ー				1		2	3
長 田 区 文 化 セ ン タ ー				1		1	2
須 磨 区 文 化 セ ン タ ー				1			1
北 須 磨 文 化 セ ン タ ー				1		3	4
垂 水 区 文 化 セ ン タ ー				1		1	2
西 区 文 化 セ ン タ ー				1		3	4
合 計	1 (0)	1 (0)	1 (1)	19 (1)	7 (3)	67 (1)	96 (6)

※ () は、人数のうち、神戸市派遣職員数。

7 役 員 等

(1) 評議員

(令和6年7月1日現在)

役 職 名	氏 名	所 属
評 議 員	井 上 和 世	声楽家
評 議 員	小 野 愛 子	一般社団法人神戸市婦人団体協議会会長
評 議 員	神 原 忠 明	一般社団法人神戸経済同友会代表幹事
評 議 員	佐 藤 友 美 子	学校法人追手門学院理事
評 議 員	玉 岡 か お る	作家
評 議 員	福 田 和 代	日本放送協会神戸放送局長
評 議 員	宮 道 成 彦	神戸市文化スポーツ局長
評 議 員	矢 崎 和 彦	株式会社フェリシモ代表取締役社長
評 議 員	山 本 裕 之	神戸親和大学名誉教授

(2) 理事・監事

役 職 名	氏 名	所 属
理 事 長	服 部 孝 司	
専 務 理 事	古 川 厚 夫	
常 務 理 事	藤 原 宏 行	(神戸市文化スポーツ局 部長)
理 事	伊 藤 紀 美 子	田嶋株式会社代表取締役社長
理 事	大 谷 燿	特定非営利活動法人DANCE BOX代表
理 事	木 田 聖 子	株式会社チャイルドハート代表取締役社長
理 事	道 満 雅 彦	オリバーソース株式会社代表取締役社長
理 事	西 上 三 鶴	公益財団法人兵庫県芸術文化協会理事長
理 事	藤 野 一 夫	公立大学法人芸術文化観光専門職大学副学長
理 事	宮 本 慶 子	神戸文化芸術会議議長
理 事	や な ぎ み わ	現代美術作家
監 事	清 水 好 央	税理士
監 事	中 嶋 展 也	弁護士

Ⅲ 定 款

公益財団法人神戸市民文化振興財団定款

第1章 総則

(名称)

第1条 この法人は、公益財団法人神戸市民文化振興財団と称する。

(事務所)

第2条 この法人は、主たる事務所を兵庫県神戸市に置く。

第2章 目的及び事業

(目的)

第3条 この法人は、神戸市民の文化活動の振興に資する事業を行い、もって個性豊かな魅力ある神戸文化の創造に寄与することを目的とする。

(事業)

第4条 この法人は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 市民の生活文化活動及び芸術文化活動の振興
- (2) 市民の国際文化交流の促進
- (3) 市民文化の振興に係る情報の収集及び提供
- (4) 文化施設の管理運営
- (5) 神戸市室内管弦楽団及び神戸市混声合唱団の運営
- (6) その他前条の目的を達成するために必要な事業

2 前項各号の事業は、兵庫県において行うものとする。

第3章 資産及び会計

(基本財産)

第5条 この法人の目的である事業を行うために不可欠な別表の財産は、この法人の基本財産とする。
2 基本財産は、この法人の目的を達成するために善良な管理者の注意をもって管理しなければならないが、基本財産の一部を処分しようとするとき及び基本財産から除外しようとするときは、あらかじめ理事会及び評議員会の承認を要する。

(事業年度)

第6条 この法人の事業年度は、毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

(事業計画及び収支予算)

第7条 この法人の事業計画書、収支予算書、資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類については、毎事業年度開始の日の前日までに、理事長(第23条に規定する理事長をいう。以下同じ。)が作成し、理事会の承認を受けなければならない。これを変更する場合も、同様とする。

2 前項の書類については、主たる事務所に、当該事業年度が終了するまでの間備え置き、一般の閲覧に供するものとする。

(事業報告及び決算)

第8条 この法人の事業報告及び決算については、毎事業年度終了後、理事長が次の書類を作成し、監事の監査を受けた上で、理事会の承認を受けなければならない。

- (1) 事業報告
- (2) 事業報告の附属明細書
- (3) 貸借対照表
- (4) 正味財産増減計算書
- (5) 貸借対照表及び正味財産増減計算書の附属明細書
- (6) 財産目録

2 前項の承認を受けた書類のうち、第1号、第3号、第4号及び第6号の書類については、定時評議員会に提出し、第1号の書類についてはその内容を報告し、その他の書類については、承認を受けなければならない。

3 第1項の書類のほか、次の書類を主たる事務所に5年間備え置き、一般の閲覧に供するとともに、定款を主たる事務所に備え置き、一般の閲覧に供するものとする。

- (1) 監査報告
- (2) 理事及び監事並びに評議員の名簿
- (3) 理事及び監事並びに評議員の報酬等の支給の基準を記載した書類
- (4) 運営組織及び事業活動の状況の概要及びこれらに関する数値のうち重要なものを記載した書類(公益目的取得財産残額の算定)

第9条 理事長は、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律施行規則(平成19年内閣府令第68号)第48条の規定に基づき、毎事業年度、当該事業年度の末日における公益目的取得財産残額を算定し、前条第3項第4号の書類に記載するものとする

第4章 評議員

(評議員の定数)

第10条 この法人に評議員8名以上12名以内を置く。

(評議員の選任及び解任)

第11条 評議員の選任及び解任は、評議員選定委員会(以下「委員会」という。)において行う。

- 2 委員会は、評議員1名、監事1名、事務局員1名、次項の定めに基づいて選任された外部委員2名の合計5名で構成する。
- 3 委員会の外部委員は、次のいずれにも該当しない者を理事会において選任する。
 - (1) この法人又は関連団体(主要な取引先及び重要な利害関係を有する団体を含む。以下同じ。)の業務を執行する者又は使用人
 - (2) 過去に前号に規定する者となったことがある者
 - (3) 第1号又は前号に該当する者の配偶者、3親等内の親族、使用人(過去に使用人となった者も含む。)
- 4 委員会に提出する評議員候補者は、理事会又は評議員会がそれぞれ推薦することができる。委員会の運営についての細則は、理事会において定める。
- 5 委員会に評議員候補者を推薦する場合には、次の事項のほか、当該候補者を評議員として適任と判断した理由を委員に説明しなければならない。
 - (1) 当該候補者の経歴
 - (2) 当該候補者を候補者とした理由
 - (3) 当該候補者とこの法人及び役員等(理事、監事及び評議員)との関係
 - (4) 当該候補者の兼職状況
- 6 委員会の決議は、委員の過半数が出席し、その過半数をもって行う。ただし、外部委員の1名以上が出席し、かつ、外部委員の1名以上が賛成することを要する。
- 7 委員会は、前条で定める評議員の定数を欠くこととなるときに備えて、補欠の評議員を選任することができる。
- 8 前項の場合には、委員会は、次の事項も併せて決定しなければならない。
 - (1) 当該候補者が補欠の評議員である旨
 - (2) 当該候補者を1名又は2名以上の特定の評議員の補欠の評議員として選任するときは、その旨及び当該特定の評議員の氏名
 - (3) 同一の評議員(2名以上の評議員の補欠として選任した場合にあっては、当該2名以上の評議員につき2名以上の補欠の評議員を選任するときは、当該補欠の評議員相互間の優先順位
- 9 第7項の補欠の評議員の選任に係る決議は、当該決議後4年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで、その効力を有する。
- 10 委員が委員会の決議の目的である事項について提案した場合において、その提案について、議決に加わることのできる委員の全員が書面又は電磁的記録により同意の意思表示をしたときは、その提案を可決する旨の委員会の決議があったものとみなす。

(評議員の任期)

第12条 評議員の任期は、選任後4年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとする。

- 2 任期の満了前に退任した評議員の補欠として選任された評議員の任期は、退任した評議員の任期の満了する時までとする。

3 評議員は、第10条に定める定数に足りなくなるときは、任期の満了又は辞任により退任した後も、新たに選任された者が就任するまで、なお評議員としての権利義務を有する。

(評議員の報酬等)

第13条 評議員に対して、各年度の総額が100万円を越えない範囲内で、評議員会において別に定める報酬等の支給の基準に従って算定した額を報酬等として支給することができる。

2 評議員には、その職務を執行するために要する費用を弁償することができる。この場合の支給基準については、評議員会の決議を経て、別に定める。

第5章 評議員会

(構成)

第14条 評議員会は、すべての評議員をもって構成する。

(権限)

第15条 評議員会は、次の事項について決議する。

- (1) 理事及び監事の選任及び解任
- (2) 理事及び監事の報酬等の額
- (3) 評議員に対する報酬等の支給の基準
- (4) 貸借対照表及び正味財産増減計算書の承認
- (5) 定款の変更
- (6) 残余財産の処分
- (7) 基本財産の処分又は除外の承認
- (8) その他評議員会で決議するものとして法令又はこの定款で定められた事項

(開催)

第16条 評議員会は、定時評議員会として毎年度6月に1回開催するほか、必要がある場合に開催する。

(招集)

第17条 評議員会は、法令に別段の定めがある場合を除き、理事会の決議に基づき理事長が招集する。

2 評議員は、理事長に対し、評議員会の目的である事項及び招集の理由を示して、評議員会の招集を請求することができる。

(議長)

第18条 評議員会の議長は、評議員会において、出席した評議員の中から選出する。

(決議)

第19条 評議員会の決議は、決議について特別の利害関係を有する評議員を除く評議員の過半数が出席し、その過半数をもって行う。

2 前項の規定にかかわらず、次の決議は、決議について特別の利害関係を有する評議員を除く評議員の3分の2以上に当たる多数をもって行わなければならない。

- (1) 監事の解任
- (2) 評議員に対する報酬等の支給の基準
- (3) 定款の変更
- (4) 基本財産の処分又は除外の承認
- (5) その他法令で定められた事項

3 理事又は監事を選任する議案を決議するに際しては、各候補者ごとに第1項の決議を行わなければならない。理事又は監事の候補者の合計数が第23条に定める定数を上回る場合には、過半数の賛成を得た候補者の中から得票数の多い順に定数の枠に達するまでの者を選任することとする。

(決議の省略)

第20条 理事が評議員会の目的である事項について提案した場合において、その提案について議決に加わることのできる評議員の全員が書面又は電磁的記録により同意の意思表示をしたときは、その提案を可決する旨の評議員会の決議があったものとみなす。

(報告の省略)

第21条 理事が評議員の全員に対して評議員会に報告すべき事項を通知した場合において、その事項を評議員会に報告することを要しないことについて、評議員の全員が書面又は電磁的記録により同意の意思表示をしたときは、その事項の評議員会への報告があったものとみなす。

(議事録)

第22条 評議員会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成する。

2 議長及び出席した評議員のうち評議員会において選出された2名が、前項の議事録に記名押印する。

第6章 役員

(役員の設定)

第23条 この法人に、次の役員を置く。

(1) 理事 8名以上12名以内

(2) 監事 2名以内

2 理事のうち1名を理事長とする。

3 理事長以外の理事のうち、1名を専務理事及び2名以内を常務理事とすることができる。

4 第2項の理事長をもって一般社団法人及び一般財団法人に関する法律(平成18年法律第48号。以下「一般法人法」という。)上の代表理事とし、前項の専務理事及び常務理事をもって一般法人法第197条において準用する一般法人法第91条第1項第2号の業務執行理事とする。

(役員を選任)

第24条 理事及び監事は、評議員会の決議によって選任する。

2 理事長、専務理事及び常務理事は、理事会の決議によって理事の中から選定する。

(理事の職務及び権限)

第25条 理事は、理事会を構成し、法令及びこの定款で定めるところにより、職務を執行する。

2 理事長は、法令及びこの定款で定めるところにより、この法人を代表し、その業務を執行し、専務理事及び常務理事は、理事会において別に定めるところにより、この法人の業務を分担執行する。

3 理事長、専務理事及び常務理事は、毎事業年度に4箇月を超える間隔で2回以上、自己の職務の執行の状況を理事会に報告しなければならない。

(監事の職務及び権限)

第26条 監事は、理事の職務の執行を監査し、法令で定めるところにより、監査報告を作成する。

2 監事は、いつでも、理事及び使用人に対して事業の報告を求め、この法人の業務及び財産の状況の調査をすることができる。

(役員任期)

第27条 理事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとする。

2 監事の任期は、選任後4年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとする。

3 補欠として選任された理事又は監事の任期は、前任者の任期の満了する時までとする。

4 理事又は監事は、第21条に定める定数に足りなくなるときは、任期の満了又は辞任により退任した後も、新たに選任された者が就任するまで、なお理事又は監事としての権利義務を有する。

(役員解任)

第28条 理事又は監事が、次のいずれかに該当するときは、評議員会の決議によって解任することができる。

(1) 職務上の義務に違反し、又は職務を怠ったとき。

(2) 心身の故障のため、職務の執行に支障があり、又はこれに堪えないとき。

(役員報酬等)

第29条 理事及び監事に対して、評議員会において別に定める総額の範囲内で、評議員会において別に定める報酬等の支給の基準に従って算定した額を報酬等として支給することができる。

2 理事及び監事に対して、その職務を執行するために要する費用を弁償することができる。この場合の支給基準については、評議員会の決議を経て、別に定める。

(顧問)

第30条 この法人に、顧問を置くことができる。

2 顧問は、次の職務を行う。

(1) 理事長の相談に応じること

(2) 理事会から諮問された事項について参考意見を述べること

3 顧問の選任及び解任は、理事会において決議する。

4 顧問は、無報酬とする。ただし、その職務を執行するために要する費用を弁償することができる。

第7章 理事会

(構成)

第31条 理事会は、すべての理事をもって構成する。

(権限)

第32条 理事会は、次の職務を行う。

- (1) この法人の業務執行の決定
- (2) 理事の職務の執行の監督
- (3) 理事長、専務理事及び常務理事の選定及び解職

(招集)

第33条 理事会は、理事長が招集する。

2 理事長が欠けたとき又は理事長に事故があるときは、各理事が理事会を招集する。

(決議)

第34条 理事会の決議は、決議について特別の利害関係を有する理事を除く理事の過半数が出席し、その過半数をもって行う。

2 前項の規定にかかわらず、一般法人法第197条において準用する一般法人法第96条の要件を満たしたときは、理事会の決議があったものとみなす。

(報告の省略)

第35条 理事又は監事が理事及び監事の全員に対して理事会に報告すべき事項を通知した場合は、その事項を理事会に報告することを要しない。

2 前項の規定は、第25条第3項の規定による報告には適用しない。

(議事録)

第36条 理事会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成する。

2 出席した理事長及び監事は、前項の議事録に記名押印する。

第8章 定款の変更及び解散

(定款の変更)

第37条 この定款は、評議員会の決議によって変更することができる。

2 前項の規定は、この定款の第3条、第4条及び第11条についても適用する。

(解散)

第38条 この法人は、基本財産の滅失によるこの法人の目的である事業の成功の不能その他法令で定められた事由によって解散する。

(公益認定の取消し等に伴う贈与)

第39条 この法人が公益認定の取消しの処分を受けた場合又は合併により法人が消滅する場合(その権利義務を承継する法人が公益法人であるときを除く。)には、評議員会の決議を経て、公益目的取得財産残額に相当する額の財産を、当該公益認定の取消しの日又は当該合併の日から1箇月以内に、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律(平成18年法律第49号。以下「認定法」という。)

第5条第17号に掲げる法人又は国若しくは地方公共団体に贈与するものとする。

(残余財産の帰属)

第40条 この法人が清算をする場合において有する残余財産は、評議員会の決議を経て、認定法第5条第17号に掲げる法人又は国若しくは地方公共団体に贈与するものとする。

第9章 公告の方法

(公告の方法)

第41条 この法人の公告は、電子公告により行う。

2 事故その他やむを得ない事由によって前項の電子公告をすることができない場合は、官報に掲載する方法による。

附 則

1 この定款は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律(平成18年法律第50号。以下「整備法」

という。) 第106条第1項に定める公益法人の設立の登記の日から施行する。

2 整備法第106条第1項に定める特例民法法人の解散の登記と公益法人の設立の登記を行ったときは、第6条の規定にかかわらず、解散の登記の日の前日を事業年度の末日とし、設立の登記の日を事業年度の開始日とする。

3 この法人の最初の評議員は、次に掲げる者とする。

石 阪 春 生
井 上 和 世
大 谷 幸 正
加 藤 隆 久
下 村 俊 子
妹 尾 美 智 子
津 村 正 男
長 崎 泰 裕
新 野 幸 次 郎
板 東 慧
湯 浅 叡 子

4 この法人の設立の登記の日に就任する理事は、次に掲げる者とする。

辻 村 博 邦
山 上 正 輝
榊 原 均
植 松 奎 二
栗 原 慶 子
藤 野 一 夫
難 波 裕 子
山 田 弘

5 この法人の最初の理事長は 辻村 博邦、専務理事は 山上 正輝、常務理事は 榊原均とする。

6 この法人の設立の登記の日に就任する監事は、次に掲げる者とする。

清 水 好 央
水 嶋 輝 雄

附 則

1 この定款は、平成28年4月1日から施行する。

附 則

1 この定款は、平成30年4月1日から施行する。

附 則

1 この定款は、令和4年10月14日から施行する。

別表 基本財産（第5条関係）

財産種別	物量等
投資有価証券等	216,910,000 円

IV 令和5年度事業報告

1 概 要

令和5年度は新型コロナウイルス感染症による行動規制が解除され、神戸文化ホール開館50周年、神戸ジャズ100周年という記念すべき年を迎えた。

個性豊かな魅力ある神戸文化の創造に寄与すべく3年にわたって実施する『神戸文化ホール開館50周年記念事業 Creating in Kobe | 神戸で創る』においては、初年度として、「港町讃歌」をテーマに多数の取り組みを行った。神戸が生み出した芸術家・舞台芸術作品、神戸で活躍する芸術家などの貴重な文化資産、そして市域をこえた近隣地域の芸術活動にも焦点を当てることで、多くの方に来場いただくとともに多数のメディアに取り上げられた。

また、リニューアルオープンした「新開地アートひろば」においては、“子どもをはじめとするあらゆる世代の人々の交流による芸術その他の文化の創造”を目指し、親子が楽しめる企画をはじめ、アーティストと協働して遊べる作品や空間を作る参加・鑑賞型の事業を月替わりで実施した。

これまで長年積み重ねてきた歴史を大切にしつつ、新文化ホールの指定管理選定も見据えた取り組みを行った。

【主な事業内容】

(1) 神戸文化ホール開館50周年記念事業

神戸文化ホールは昭和48年10月に開館し、令和5年に開館50周年という大きな節目の年を迎えた。同館は50年間神戸市民と共に文化創造に取り組み、発信し続けてきた。そして、これからも成長を続け、個性豊かな魅力ある神戸文化の創造に寄与すべく、令和5年より『神戸文化ホール開館50周年記念事業 Creating in Kobe | 神戸で創る』を3年間に渡り実施していく。

神戸が生み出した芸術家・舞台芸術作品、神戸で活躍する芸術家などの貴重な文化資産、そして市域をこえた近隣地域の芸術活動にも焦点をあて、これまで神戸文化ホールが積み重ねてきた歴史に学びそれを発展させながら、神戸で実演芸術を新たに創り出すことを目的としている。

【令和5年度(2023年度)テーマ 港町讃歌】

5月19日(金)	「ガラ・コンサート 神戸から未来へ」
10月21日(土)	「緑のテーブル2017」
12月16日(土)	「天地創造」
1月7日(日)・8日(月祝)	「ジャズ大名」

<ガラ・コンサート 神戸から未来へ>

令和5年より3年に渡り行う『神戸文化ホール開館50周年記念事業』のはじまりを告げる公演、テーマに掲げる「Creating in Kobe | 神戸で創る」を具現化する祝宴。

神戸市室内管弦楽団、神戸市混声合唱団を日本が誇るマエストロ・山田和樹が率い、戦前戦後に活躍した神戸の知られざる巨匠、作曲家・大澤壽人が戦時下で秘密裏に書いた作品の復活初演のほか、神戸や阪神間の児童で編成した児童合唱団による合唱など、地域の文化資源・芸術活動へ焦点を当てた取り組みとなった。また、公演の様子がNHKニュースや各紙批評で取り上げられるなど、多数の評価を獲得した。

<緑のテーブル2017 ～神戸文化ホール開館50周年記念 Ver.～>

1932年にドイツの振付家クルト・ヨースが生んだ「緑のテーブル」をもとに、神戸等を拠点に国内外で活躍する岡登志子氏が2017年に完全オリジナルとして創作発表した作品。今回は神戸を代表する貞松・浜田バレエ団団長の貞松融氏をゲストに迎え、開館50周年版として再構築して上演を行った。また、作品のフィナーレを飾る「祈りの踊り」の場面では、50年の節目ということで、神戸市民を中心に募集した総勢50名での踊りを作品に組み入れ、「反戦バレエ」とも呼ばれる原作の精神を受け継ぎ、人間の営みにおける平和や普遍性を問いかけるダンス作品の上演となった。

<神戸市室内管弦楽団・神戸市混声合唱団合同定期演奏会『ハイドン：オラトリオ《天地創造》』>
令和5年12月に、神戸市室内管弦楽団・音楽監督の鈴木秀美指揮のもと、隠岐彩夏・櫻田亮・氷見健一郎らソリストを迎え、両団合同定期演奏会及び神戸文化ホール50周年記念として《天地創造》を披露した。両団は令和3年に、同じく鈴木秀美指揮によってヘンデルの《メサイア》に取り組んでおり、その経験を踏まえた演奏は、『音楽の友』誌において「ハイドンの気宇雄大な音楽の進行とともに盛り上がる楽興は、「音楽する」という行為の本質を示していた。（国土潤一）」と批評が掲載されるなど、高い評価を得た。

<ジャズ大名>

神戸在住の作家、筒井康隆の傑作小説「ジャズ大名」を福原充則の演出で舞台化したコメディ作品。ジャズ100周年を祝う神戸に負けまいと、同じくジャズで賑わう港町、神奈川県横浜市のKAAT神奈川芸術劇場等と連携して実施。千葉雄大、藤井隆、大鶴佐助など実力派俳優と、関島岳郎率いるアグレッシブな音楽家たちが、幕末の日本人がジャズとの出会いに歓喜し狂乱する物語を魅力的に上演した。50周年記念として、舞台上で共演する村人役を公募の市民参加で集めたほか、関連企画として参加体験型の映像作品の展示上映を行った。ロビーでの神戸土産や原作本の販売、撮影パネルの設置など、全国各地から神戸に集まってきた3,000名に迫る来場者へのおもてなしの施策も好評だった。

(2) 新開地アートひろば「ニューあそび場の創造」

令和5年度よりリニューアルオープンした新開地アートひろばでは、施設全体を『あそび場』として捉え、アーティストと協働して遊べる作品や空間を作る参加・鑑賞型の事業を月替わりで実施した。

上半期は親子が楽しめる企画（toRmansion、ズガコウサクでクリエイト、おばけひろば）を実施、下半期は地域や施設の特徴を活かした事業を展開し、“子どもをはじめとするあらゆる世代の人々の交流による芸術その他の文化の創造”を目指した事業を展開した。

(3) 神戸ジャズ100周年記念事業

大正12年（1923年）、神戸で日本初のプロバンドがジャズを演奏してから、令和5年（2023年）で100周年を迎えることから、神戸市・財団・「ジャズの街神戸」推進協議会等が中心となり、多くの記念事業・関連イベントを展開した。財団では、ホームページなどの広報面を担うとともに、自主事業として、神戸文化ホールでのジャズコンサートを企画・実施することで、多彩なジャズの魅力を発信し普及啓発をはかった。

また、100周年を機に、地元関係団体等が中心となって企画・運営するまちなかでのジャズフェスティバル「Kobe Jazz Centennial」での事務局機能を担い、事業の立上げを支援した。

(4) KOBE まちなかパフォーマンス

神戸市では、アーティストの新たな活動機会の創出や、市民が文化芸術やエンターテインメントに気軽に触れられる機会の創出、まちの魅力向上を目的に、三宮・地下鉄沿線エリア等のまちなかで市が設定した公認会場において、一定の審査を経て事前登録を行ったパフォーマーが、自主的、日常的にパフォーマンス活動を行うことができる仕組みづくりを行うこととしており、財団としても市と協力して制度の立上げ・運営に向けて事務局業務やホームページ、予約システムの構築に取り組んだ。令和6年度からは制度の運営全般を受託している。本制度運営への参画を通して、アーティストの活動機会や活動場所の提供・充実につなげるのみならず、地域と連携した事業実施等、三宮エリア周辺の行政を含む関係者および商業施設等との関係構築を行った。

(5) 神戸文化ホールウェルカムジャンボリー2023『コブホであそぼ!』

子どもたちや子育て中の若い世代、また障がいの有無や国籍に関わらず多くの市民が楽しくホールに集い、交流し、パフォーマンスに親しむフェスティバル型の事業「ウェルカムジャンボリー2023『コブホであそぼ!』」を6月に実施した。ブラスバンドの絵本コンサートに加えて、隣接する大倉山公園の広場でマルシェを開催して地域の賑わい創出に貢献したほか、公募したワークショップ参加者も加わったパレード型パフォーマンスで公園とホール内部を繋いで、ホールと街が繋がった回遊型のイベントとして実績を残すことができた。

2 事業の実施状況

公益目的事業

(1) 文化ホール

① 文化ホール公演事業

ア 事業方針

- ・普及啓発及び人材育成型の事業を充実させながら、50周年事業を中心に神戸文化ホールを拠点とした創造発信事業に着手
- ・先進的な取り組みを行っている他都市の優れた文化施設と連携しながら優れた舞台芸術の鑑賞機会を強化
- ・財団のネットワークを活用した市民・芸術家・文化団体・他地域の文化施設などとの交流や連携を強化

イ 事業内容

(ア) 芸術創造・発信事業

地元芸術団体や若手芸術家に発表の機会を提供するとともに、実績のあるアーティストや他都市の先進的な文化施設との関係作りを強化する中で、当館の企画制作や舞台技術等のスタッフの能力向上に取り組み、本格的な創造発信事業に着手する体制を整えることを目的として実施した。

50周年事業「緑のテーブル 2017」の創作作業や、令和4年度に当館で初演した貞松・浜田バレエ団「くるみ割り人形と秘密の花園」の再演等を通じて、創造発信事業の基盤づくりに取り掛かることができた。

(イ) 教育普及・育成事業

未来を担う子どもたちや若い世代が舞台芸術に触れる機会を生み出すとともに、新たな観客を育成し、地域に必要なホール運営を目指して実施した。

アートに親しむフェスティバル型の事業「ウェルカムジャンボリー2023」や、コロナ禍で中断していた神戸市内小学生の招待公演「劇団四季こころの劇場」等を実施したほか、「アートマネジメント人材養成講座」では世界的に活躍する演出家・宮城聡を招聘した講演会を実施した。継続して担い手の養成に取り組む観点から、県内の芸術文化観光専門職大学からインターン研修生を受け入れた。

(ウ) 鑑賞・学習事業

質の高い公演や、民間興行では実現しにくい公演などを中心に、優れた舞台芸術を鑑賞する機会を提供することを目的として実施した。

筒井康隆原作の音楽劇「ジャズ大名」では3,000名に迫る観客を集めたほか、スペインからの招聘ダンス公演「エアー」ではコロナ禍で中断していた国際文化交流の実現にも貢献することができた。また、「ジャズ大名」に合わせて実施した関連企画「おとかくれんぼ」では、関西の気鋭の映像作家・吉光清隆を起用し、楽しく参加できる体験型の映像作品を様々な子どもたちに楽しんでいただいた。

ウ 文化ホール公演事業実績

〈事業別〉

	事業数	公演数	入場者数
芸術創造・発信事業	6	11	6,054
教育普及・育成事業	7	23	14,733
鑑賞・学習事業	5	13	4,888
合 計	18	47	25,675

〈部門別〉

	事業数	公演数	入場者数	備 考
音 楽	4	6	2,481	合唱1 和太鼓1 フルート2
舞 踊	4	7	3,851	海外招聘2 バレエ1 現代舞踊1
演 劇	4	19	16,737	演劇3 ミュージカル1
演 芸	1	2	434	落語1
その他	5	13	2,172	能1 新しい広場1 その他3
合 計	18	47	25,675	

文化ホール公演実績

令和5年4月1日～令和6年3月31日

1.芸術創造・発信事業 6事業11公演					
No.	日付 (公演日)	事業名	会場 (施設名)	入場者数(人) (参加者数)	備考
1	8月24日	緑のテーブル2017 関連企画 緑のトークセッション ①夏の朝篇「舞踏の視点」	中央区文化センター	54	
	9月21日	緑のテーブル2017 関連企画 緑のトークセッション ②秋の夕篇「伝統と現代」	中央区文化センター	21	
	10月21日	神戸文化ホール開館50周年記念事業 緑のテーブル2017 ～神戸文化ホール開館50周年記念Ver.～	神戸文化ホール 中ホール	512	
2	12月2日	和太鼓松村組 神戸公演2023	神戸文化ホール 大ホール	987	
3	12月4日	次年度以降の新作創造のための身体表現ワークショップ	新開地アートひろば	30	2回実施
4	12月23日・24日	貞松・浜田バレエ団「くるみ割り人形と秘密の花園」	神戸文化ホール 大ホール	2,991	
5	1月27日	SING 'N' PRAY KOBE 2024	神戸文化ホール 中ホール	600	概算
	1月28日	PRAY FROM KOBE 2024 ～明日につなげるコンサート～	神戸文化ホール 大ホール	398	参加者総数は746名
6	3月20日	第十六回 神戸能	神戸文化ホール 中ホール	461	
合計				6,054	
2.教育普及・育成事業 7事業23公演等					
No.	日付 (公演日)	事業名	会場 (施設名)	入場者数(人) (参加者数)	備考
1	4月22日、5月21日	神戸文化ホール ウェルカムジャンボリー2023 プレイベント 千代野さんのわくわくドキドキおはなし会	NATURE STUDIO EAST、こども本の森 神戸	115	
	6月17日	神戸文化ホールウェルカムジャンボリー2023「コブホであそぼ！」	神戸文化ホール大 ホール・リハーサル 室・大倉山公園	1,440	野外催事は概算
2	8月3日	エアー～不思議な空の旅～ 関連企画 こどもダンスワークショップ	神戸文化ホール 練習室	13	
3	7月30日	アートマネジメント人材養成講座 スペシャル講座 講師：宮城聡(演出家/SPAC-静岡県舞台芸術センター芸術総監督)	中央区文化センター	44	
	9月30日、10月28日、12月2日	アートマネジメント人材養成講座 企画制作講座	あすてつぷKOBE セミナー室	82	
4	11月14日～17日	2023年度 劇団四季こころの劇場 神戸公演 ミュージカル「ジョン万次郎の夢」	神戸文化ホール 大ホール	12,989	8回公演
5	11月18日、12月16日、1月13日	内閣官房 孤独・孤立対策活動基盤整備モデル調査 「新たなつながりを創出するアートワークショップ in神戸」	子どもの居場所 kiten	26	CS神戸と共催
6	7月22日～8月1日、2月28日～3月9日	芸術文化観光専門職大学インターン受け入れ	神戸文化ホール	4	夏期2名、冬期2名
7	8月21日	神戸国際フルートコンクール関連事業 「音楽で科学する？夏休みの自由研究に役立つワークショップ」	神戸文化ホール 練習室	20	AM11名、PM9名
合計				14,733	

3. 鑑賞・学習事業 5事業13公演					
No.	日付 (公演日)	事業名	会場 (施設名)	入場者数(人) (参加者数)	備考
1	4月28日～30日	劇団唐組第71回公演「透明人間」	湊川公園(特設紅テント)	650	
2	8月5日	エアー～不思議な空の旅～	神戸文化ホール 中ホール	260	
3	9月17日	第46回 東西落語名人選	神戸文化ホール 中ホール	434	2回公演
4	11月11日	ジャズ大名 関連企画 音さがしワークショップ-Sound and seek	神戸文化ホール多 目的室・大倉山公園	13	
	12月16日～1月8日	ジャズ大名 関連企画 踊る村人役(市民公募参加)	神戸文化ホール	14	
	1月7日・8日	神戸文化ホール開館50周年記念事業 ジャズ大名	神戸文化ホール 大ホール	2,841	
		ジャズ大名 関連企画 ～かくれたおとをみつけて えんそうしてみよう～「おとかくれんぼ」	神戸文化ホール 多目的室	200	概算
5	2月18日	神戸国際フルートコンクール関連事業 「音楽のまち神戸」スペシャルコンサート	神戸文化ホール 中ホール	476	
合計				4,888	

② 神戸市室内管弦楽団・神戸市混声合唱団

ア 事業方針

- ・神戸文化ホールにおける質の高い演奏の提供
- ・演奏水準のさらなる向上
- ・広報強化、アウトリーチの実施による両楽団の周知
- ・自主公演への集客強化と新たな依頼公演の獲得

イ 事業内容

(ア) 神戸市室内管弦楽団・神戸市混声合唱団

全国の自治体で唯一、ホール専属の神戸市室内管弦楽団と神戸市混声合唱団を保有・運営している強みを活かし、音楽監督と両団の総力を結集した大曲や委嘱作品に取り組んだことや、神戸文化ホール開館 50 周年にちなんで神戸出身のソリスト・指揮者・作曲家に拘るなど、創造力あふれる企画発信を行った。神戸市室内管弦楽団は、当年度より日本オーケストラ連盟への加盟（準会員）が認められ、名実共に神戸を代表する楽団となった。

また、乳幼児や障害のある子供、その保護者らが気兼ねなく参加できるようバリアフリーに関する工夫を凝らした「こどもコンサート」を引き続き実施するなど、普及啓発や社会包摂事業の充実をはかった。

(イ) 楽団の周知・魅力発信の取り組み

SNS（X、Facebook、Instagram）や動画配信により、積極的かつ効果的な広報に取り組み、着実にフォロワーを増やしている。また、マスコミや有識者への効果的な働きかけ、新聞・雑誌・オンライン記事掲載等による認知度・レピテーション向上に努めた。加えて、他ホール・演奏団体等からの依頼公演獲得のための営業活動を行った。更に、小学生を神戸文化ホールに招待する「インリーチ事業」と、6年間で市内全小学校へ出張演奏を行う「アウトリーチ事業（5年目）」に、地元の音楽家とも連携して取り組んだ。

令和4年1月から開始した神戸市室内管弦楽団、神戸市混声合唱団の「定期会員制度」においては、制度開始時より登録件数を伸ばしており、令和6年3月時点で113席と、着実な顧客形成を進めている。

【令和5年度公演数・入場者数】

	自主公演	依頼公演	合計
公演数	27	95	122
入場者数	8,609	27,338	35,947

ウ 演奏事業実績

【自主公演】

(単位：人)

事業名	開催時期	開催場所	入場者数	
神戸市室内管弦楽団	4/22	神戸文化ホール (大)	711	
	6/3	神戸文化ホール (大)	496	
	9/2	神戸文化ホール (大)	426	
	11/11	神戸文化ホール (大)	514	
	3/9	神戸文化ホール (大)	684	
	子どもコンサート関連アウトリーチ	6/25	こども本の森神戸・三宮図書館	130
	子どもコンサート関連ワークショップ	7/2, 16, 22, 23	神戸文化ホール (練習室1・大ホール)	17
	第159回定期演奏会関連ワークショップ	8/1	神戸文化ホール (リハーサル室)	57
	セレクションⅢ	8/5	うはらホール	274
	セレクションⅣ	2/23	ピフレホール	410
神戸市混声合唱団	合唱コンクール課題曲コンサート	4/23	神戸文化ホール (大)	359
	あなたに贈るコンサート	6/18	ありまホール	239
		10/29	うはらホール	383
	わがまちコンサート・ピフレ	11/19	ピフレホール	377
	ファミリーコンサート	1/28	中央区文化センター 多目的ホール	101
	定期演奏会	9/16	神戸文化ホール (大)	346
3/2		神戸文化ホール (大)	522	
合同	ガラ・コンサート「神戸から未来へ」	5/19	神戸文化ホール (大)	911
	子どもコンサート関連アウトリーチ	6/29	青陽須磨支援学校	110
		6/30	いぶき明生支援学校	229
	子どもコンサート	7/23	神戸文化ホール (大)	591
	合同定期演奏会	12/16	文化ホール (大)	722
演奏事業合計			8,609	

【依頼公演】

	公演数	入場者数
神戸市室内管弦楽団	11	2,123
神戸市混声合唱団	49	12,318
合同	35	12,897
合計		27,338

③ 文化振興事業

ア 事業方針

- ・芸術文化による神戸ブランドの創造発信
- ・地元アーティスト・団体の芸術文化活動をサポートし、神戸文化の創造・発展に努める
- ・市民のくらしに芸術文化を根づかせる取り組み
- ・次世代の芸術文化の担い手や支え手の育成

イ 事業内容

(ア) 芸術文化による神戸ブランドの創造発信

神戸に根付いたジャズ文化を市内外へ発信するため、観光・商業・報道等さまざまなジャンルの民間企業・個人・官公庁等と連携し、「ジャズの街神戸」推進協議会の活動として、「神戸ユースジャズオーケストラ」の運営をはじめ、『神戸ジャズの日』記念イベントや、公式ウェブサイト「JAZZ TOWN KOBE」等を通じ、さまざまな神戸のジャズに関する情報を集約し、発信を行った。

神戸ジャズ 100 周年記念の自主事業として、神戸文化ホールでのジャズ・コンサートを企画・実施することで、多彩なジャズの魅力を発信し普及啓発をはかるとともに、100 周年を機に、地元関係団体等が中心となって企画・運営するまちなかでのジャズイベント「Kobe Jazz Centennial」での事務局機能を担い、事業の立上げを支援した。また、マザーポートクラブ等から協賛金支援を受けた。

(イ) 情報収集・提供の充実

地元のアーティストや文化芸術関係者を対象に、ウェブサイトから気軽に相談できる「こうべ文化芸術相談窓口」を設置し、文化芸術活動に関する相談（資金調達、活動拠点、広報等）に対し、専門家等と連携し情報提供や助言等を実施した。また、アーティスト向けのセミナーや、文化センターとの連携事業（公募したアーティストによるワークショップ・アート展示）など、学びや交流機会の提供、新たな活動機会の創出につながる取り組みを積極的に行った。

これらの取組を通じて、地域の文化芸術活動にかかる情報や、必要な知見、ネットワークを蓄積し、神戸の文化芸術振興・発展につなげていくことを目指す。

<令和5年度実績>

- ・相談件数 47 件
- ・相談受信件数 369 件
- ・メルマガ配信 16 回
- ・関連事業 セミナー1 回、子ども対象のワークショップ 3 事業、アート展示 2 事業
- ・相談内容別内訳

補助金・助成金情報	広報・後援等	活動拠点	事業計画	資金計画
13	7	12	18	4
教室・講座	パートナー探し	その他	合計	
5	4	13	76	

※1 件の相談につき相談内容が複数あるため、相談件数とは一致しない。

(ウ) 市民参加型芸術文化事業の充実

市民による芸術文化活動の発表機会を創出するため、「神戸市吹奏楽祭」や「モーブガレット交歓会」、「シャンソン・ポピュレールコンクール」等の事業を行った。

(エ) 地元芸術文化団体との協力関係の強化及び若手芸術家の発掘・支援

神戸文化の基盤となっている地元芸術文化団体の活動を支援するとともに、神戸市室内管弦楽団・神戸市混声合唱団が行っている市内小学校へのアウトリーチ事業を地元芸術団体と連携して行う等協力関係の強化を図った。また、「神戸市吹奏楽祭」、「JAPAN STUDENT JAZZ FESTIVAL」等を通じて今後の神戸文化の担い手となる若手人材の育成を支援した。

(オ) 芸術文化を担う人材の育成

アートマネジメント業界を志望する学生や文化芸術団体（劇場・音楽堂、実演団体）に所属するスタッフ等を対象としたアートマネジメント講座の実施や、大学等と連携したインターンシップの受け入れ、アートマネジメントの「担い手」養成を図った。

<令和5年度 アートマネジメント講座>

アートマネジメントの「担い手」養成を目的として、アートマネジメント業界を志望する学生や文化芸術団体（劇場・音楽堂、実演団体）に所属するスタッフ等を対象に、以下の3つの事業を実施。

- ・インターンシップ：公演現場を体験していただくインターンシップ事業
- ・舞台講座：舞台の構造を楽しく知る講座
- ・アートマネジメント講座（事業制作入門講座）：事業制作についてのレクチャー講座

令和5年度 アートマネジメント講座実績

事業名	事業数・公演数	参加者数
インターンシップ	5事業・6公演	30名
舞台講座	1事業・1公演	7名
アートマネジメント講座	4事業・4公演	133名
計	10事業・11公演	170名

※アートマネジメント講座参加者数には、財団職員含む

ウ 文化振興事業実績

(単位：人)

事業名	開催時期	開催場所	入場者数	
「ジャズの街神戸」発信事業	4月～3月	SMBC神戸営業部前 他	1,000	
神戸市吹奏楽祭	4/29, 11/3	神戸文化ホール	5,691	
全日本シャンソン・ポピュラーコンクール	神戸大会6/3 ※この他全国4ヶ所で 地区大会を開催	ピフレホール	569	
	セミファイナル8/5	ピフレホール		
	ファイナル9/23	神戸文化ホール		
神戸三曲協会演奏会等	6/11, 3/17	神戸文化ホール 他	550	
室内楽名曲シリーズ	6/25, 10/29	うはらホール 神戸文化ホール	615	
神戸ジャズ道場	8/3～8/5	神戸セミナーハウス	142	
音楽 JAPAN STUDENT JAZZ FESTIVAL	8/18～8/20	神戸文化ホール	2,047	
神戸フィルハーモニック定期演奏会等	6/25, 10/7, 1/14	神戸文化ホール	1,820	
神戸ジャズ100周年記念事業 KOBEJAZZ100 Concert	9/29, 11/15	神戸文化ホール	878	
神戸ジャズストリート	10/7, 8	北野界限9会場	2,300	
Kobe Jazz Centennial	10/22	三宮・旧居留地周辺7会場	9,500	
母親コーラス「モーブガレット交歓会」	11/16, 17	神戸文化ホール	844	
子どものためのコンサート	11/26	舞子ビラあじさいホール	150	
2023ジョイフルコンサート	12/23	松方ホール	500	
KOBE NEWAGE JAZZ CONCERT 2023 (ユースジャズオーケストラ出演)	3/13	ジーベックホール	101	
演劇 舞踊	神劇まわり舞台	4月～3月	市内各所	1,033
	こうべ全国洋舞コンクール	5/1～5/5	神戸文化ホール	1,956
他	こうべ文化芸術相談窓口 勉強会「伝わる企画書とポートフォリオ」	1/21	東灘区文化センター	38
	こうべ文化芸術相談窓口子どもワークショップ 「Suki×2 STAMP」	7/8	中央区文化センター	21
	こうべ文化芸術相談窓口子どもワークショップ 「アフリカンダンス&ドラム体験」	3/17	中央区文化センター	49
	こうべ文化芸術相談窓口子どもワークショップ 「消しゴムはんこをつくろう！」	3/24	中央区文化センター	9
	こうべ文化芸術相談窓口アート展示「C+Kobe」	2/2～2/13 2/16～2/27	中央区文化センター	480
文化振興事業合計			30,293	

④ 情報発信

ア 神戸市室内管弦楽団・神戸市混声合唱団の情報発信強化

神戸市室内管弦楽団・神戸市混声合唱団について、幹部職員のネットワーク・SNS を活用した積極的な情報発信、マスコミとの関係構築による記事化・放送化に引き続き取り組んだ。また、各公演に音楽評論家を招き、注目される団体としてのムーブメントを起し告知に資するといった戦略的広報を更に進めた。

イ インターネットによる情報発信

当財団が主催する主要事業などを幅広く紹介するとともに、管理している各施設の空室情報や講座の受講申込み、各種情報誌の内容をホームページに掲載した。

また、Twitter や Facebook、Instagram など多様な SNS を活用したリアルタイムの情報発信に積極的に取り組むとともに、動画共有サイト等による事業広報を展開した。

財団ホームページ訪問者数	3,204,704 人（月平均 267,059 人）
Facebook フォロワー数	7,227 人
Twitter フォロワー数	9,099 人
Instagram フォロワー数	2,423 人

※SNS のフォロワー数は文化センター部及び事業部、新開地アートひろばの合計。

ウ 「KOBE C 情報」の発信

「KOBE C 情報」については、神戸及びその近郊における文化芸術イベント等を PR したい事業実施者から情報を直接集め、ウェブサイトや複数の SNS で広く発信することで、文化芸術に関する情報のプラットフォーム形成を行った。令和 5 年度は掲載コンテンツの充実に加えて「スマートこうべ」との連携を行うなどサイトの魅力向上の取り組みを進めた。

エ 文化ホール公演事業の情報発信強化

神戸文化ホールの情報発信機能として、情報誌「ほーるめいと」を発行（15,000～18,000 部／隔月）した。また SNS を活用したメールマガジン、Facebook、X での発信や、50 周年記念ホームページの作成などに取り組んだ。

	回数	発行部数	備 考
ほーるめいと	6	5,000～18,000 部 ／隔月	神戸文化ホールで開催される自主事業や公演情報をまとめた広報誌。令和 3 年度に内容を一新し、デザインを整え、印象に残る誌面作りを心掛けるとともに、インタビュー記事を拡充し、訴求力を高めた。 会員を始め市内の文化施設や主要駅図書館などへの発送及び設置。

オ 広報 PR の強化

財団事業を総合的かつ横断的にプロモーションし、公演の入場者数や入場料収入の増加に努めた。

また、幹部職員の全国的なネットワークを活用し、マスコミへ各種資料提供を行うなど情報発信に積極的に取り組んだ。

⑤ 神戸文化ホール貸館・管理事業

ア 事業方針

- ・弾力的なホール運営と専門性の高いサービスの提供
- ・施設利用者、来館者の意見を反映したホール運営
- ・文化の発信拠点として地元芸術団体・若手芸術家を支援
- ・基幹ホールにふさわしい安全・安心な管理運営

イ 事業内容

(ア) 弾力的なホール運営と専門性の高いサービスの提供

年中無休、早朝仕込み・深夜撤収など、ニーズに応じた弾力的な運用を継続実施した。また、舞台スタッフによる専門性の高い舞台運営、ホスピタリティ溢れるホール運営で利用者のサポートを引き続き実施した。

(イ) 施設利用者、来館者の意見を反映したホール運営

利用後のアンケート等でいただいたご意見・ご要望をもとに、ホール運営全般の改善に努めた。

(ウ) 文化の発信拠点として地元芸術団体・若手芸術家を支援、広域からのホール利用の促進

抽選会における優先利用制度や練習利用の割引料金制度による地元芸術団体、若手芸術家の活動支援を継続して実施した。また、メールを用いた事前受付制の抽選会を継続して実施することで、コロナ感染対策としての対面接触を減らすだけでなく、遠方の利用希望者のホール利用のアクセシビリティの向上に努めた。

(エ) 基幹ホールにふさわしい安全・安心な管理運営

設備全般にわたる日常的な点検の実施、不良箇所への速やかな対処に努め、神戸市の公共基幹ホールにふさわしい安全・安心な管理運営を行なった。

また、キャッシュレス決済（電子マネー）で利用料金やチケット代金の支払いが可能となる電子精算機器の整備や、ホールでのインターネット配信等のため光回線利用設備を整備、非接触で入場を可能とするスマートゲートの導入により利用者にとってより使いやすくなるサービスと設備を引き続き提供した。

ウ 貸館・管理事業実績

		大ホール	中ホール	練習場	合計
利用件数(件)		255	252	3,160	3,667
入場者数(人)		209,582	93,961	41,244	344,787
利用率 (%)	踏入率	82.9	83.8	95.6	
	実利用率	73.8	74.2	75.5	

① 神戸文化ホール利用状況表（自主事業を含む） ※収益事業を含む

令和5年4月1日～令和6年3月31日

		大ホール		中ホール		合計	
部門	内 訳	利用件数(件)	入場者数(人)	利用件数(件)	入場者数(人)	利用件数(件)	入場者数(人)
音楽	クラシック	114	64,729	49	20,990	163	85,719
	ポピュラー	12	14,930	14	6,532	26	21,462
	邦楽	2	1,455	5	1,687	7	3,142
	小 計	128	81,114	68	29,209	196	110,323
舞踊	舞踊等	34	26,870	80	23,469	114	50,339
演劇	演劇	12	9,266	22	8,777	34	18,043
	音楽劇	10	20,161	16	5,558	26	25,719
	小 計	22	29,427	38	14,335	60	43,762
演芸等	演芸・映画	12	14,732	23	9,128	35	23,860
大会行事 等	大会・式典	21	13,580	16	7,474	37	21,054
	講演会・講習会	38	43,859	27	8,803	65	52,662
	小 計	59	57,439	43	16,277	102	73,716
その他		0	0	0	1,543	0	1,543
合 計		255	209,582	252	93,961	507	303,543
利用率(%)		82.9		83.8		83.4	
前年度利用率(%)		68.6		79.5		74.1	

注) ・利用率は、「利用日数/利用可能日数」(大ホール 243/293、中ホール 238/284)

②神戸文化ホール練習場利用状況表 令和5年4月1日～令和6年3月31日

		合計
利用件数(件)		3,160
利用者数(人)		41,244
利用率(%)		95.6
前年度利用率(%)		95.5

(2) 新開地アートひろば

① 新開地アートひろば事業

ア 事業方針

- ・文化芸術を軸とした地域の活性化と賑わいづくり
- ・子育て世代をはじめ、幅広い人々が集う、地域にひらかれた文化活動拠点
- ・継続したアーティストの育成・支援
- ・市内外の文化施設や教育機関、財団のネットワークを活用した交流や連携の強化
- ・実施事業の評価・リサーチ・研修による事業向上及び人材育成

イ 事業内容

(ア) 創造発信・地域活性化事業

アーティストとの協働による創造的プログラムを通年にわたり計画・実施した。

月替わりで様々なジャンルのアーティストを起用して事業を展開し、地域の文化活動拠点として幅広い世代に向けた鑑賞・参加型イベントを実施した。

事業名：「ニューあそび場の創造」

(イ) アーティスト育成・支援事業

次代を担う若手芸術家の育成プログラムの他、アーティストの創作活動や発表の場の提供を行った。アートファンの裾野を広げることを目的とする長期的にアーティストを支援する仕組み作りや、文化芸術活動に携わる様々な人に向けた育成支援事業を展開した。

事業名：「Go!Go! High school Project」、「アーティストサポートプログラム」

(ウ) プログラム連携・構築事業

市内文化施設との連携の他、事業評価・リサーチを実施し、事業計画の改善、スタッフの専門性を高めた。

事業名：「Marching KOBE」「事業リサーチ・評価・研修プログラム」

「月イチダンサーとからだあそび」、「ひらがなサーカスがやってきた！」、

「新開地ジャズヴォーカルクィーンコンテスト」「土曜マルシェ」

「アウトリーチ企画：御殿山生涯学習センター、KIITO」

ウ 新開地アートひろば事業実績

〈事業別〉

	事業数	入場者数（人）
創造発信・地域活性化事業	9	32,190
育成・支援事業	1	231
音楽・その他事業	8	11,195
合計	18	43,616

公演実績

令和5年4月1日～令和6年3月31日

創造発信・地域活性化事業	開催時期	入場者数 (参加者数)
「to R mansionの“へんてこ”フェス！in 新開地」	5月7日(日)～31日(水)	4,813
「図画工作でたのしもう！」	6月11日(日)～30日(金)	1,912
新開地おばけひろば	7/15(土)～9/3(日)	6,719
新開地解開新所	9/1(金)～10/1(日)	6,111
メロとひろばでシルクスクリーン！	10/1(日)～29(日)	2,034
ダンスを渡す～長与江里奈の場合～	12/1(金)～24(日)	3,990
「ふれてみるツキ」	1/6(土)～31(水)	2,047
「安住の地・ライトシティー」	2/9(金)～24(日)	533
「しんかいち旅行社」	3月4日(月)～30日(土)	4,031
小計		32,190
アーティスト育成・支援事業	開催時期	入場者数 (参加者数)
Go! Go! High School Project 2023	8月	231
小計		231
プログラム連携・構築事業	開催時期	入場者数 (参加者数)
新開地ジャズヴォーカルクイーンコンテスト・新開地音楽祭	5月7日(土)・8(日)	1,150
土曜マルシェ・新開地夏・冬まつり	毎月第二土曜日	7,618
ひらがなサーカスがやってきた！	12月18日(月)～1月21日(日)	510
つきイチ ダンサーとからだあそび	11月～3月	110
おえかき山のクリスマス	12月10日(日)～25日(月)	393
おえかき山のはるじたく	2月1日(木)～3月31日(日)	1,253
アウトリーチ 御殿山シルクWS	2月9日(金)・10日(日)	11
アウトリーチ OPEN KIITO シルクWS	3月2日(土)	150
小計		11,195
合計		43,616

② 情報発信

情報発信機能を充実、強化するため、チラシやホームページ、SNS など幅広い広報 PR に努めると共に、子ども向けのイベント情報ツール（すぐーる等）を活用し広報活動を実施した。

③ 新開地アートひろば貸館・管理事業

ア 事業方針

- ・ 条例・規則に基づいた公平・公正なサービスの提供
- ・ 利用者が安全・安心・快適に利用できる貸館運営・利用者対応
- ・ 市民の芸術文化活動の促進・誘致
- ・ 利便性の向上と芸術文化活動への協力

イ 事業内容

(ア) 条例・規則に基づいた公平・公正な貸館サービスの提供

条例に基づき、利用者に対して公平・公正なサービスを提供した。親子向けの新設フリースペース、「てててパーク」では、近隣類似施設のヒアリングをもとに職員向けマニュアルを作成した。重大な事故、トラブルなく、安定したサービスを提供した。

(イ) 利用者が安全・安心・快適に利用できる貸館運営・利用者対応

複合施設にみられる、施設用途が不明という声に対して、施設の使用用途を「練習施設」「発表施設」の2つに分類し、わかりやすい利用案内を行った。「発表施設」では、予約段階から相談や打合せなどの専門知識を備えた施設運営スタッフが対応を行った。

(ウ) 市民の芸術文化活動の促進・誘致

アトリエの開放日数をより充実させながら（※1）、利用率の向上も達成した。特に1階のフリースペースは、催し内容に応じて、未就学児から高齢者までが滞留するスペースとしての運用に成功している（※2）。

※1 2023年度アトリエ開放日数：2021年度比80%増（2022年度休館）

※2 2023年度1room利用者数：2021年度比108%増（2022年度休館）

(エ) 利便性の向上と芸術文化活動への協力

新しい施設予約システムを導入。わかりやすくスムーズな施設予約環境の提供を行い、ネット予約に対応する準備を進めた。また、定期的な利用がある団体に対して、広報物の配架・配布協力を行うことで、関係性維持の仕組みを継続させた。

ウ 新開地アートひろば利用状況表（自主事業含む）

令和5年4月1日～令和6年3月31日

施設名	利用者数	踏入件数 (利用件数)	踏入率 (実利用率)	前年度 踏入(実利用率)
多機能ホール(ホール)	24,985	139 (377)	54.0% (48.8%)	65.1% (59.5%)
リハーサル室(1・2)	13,596	409 (719)	72.3% (42.4%)	81.5% (52.4%)
ギャラリー	20,106	226 (678)	82.5% (82.5%)	77.7% (77.7%)
アトリエ	412	99 (370)	96.1% (48.9%)	26.5% (8.8%)
スタジオ(1・2・3)	3,198	346 (610)	41.5% (24.4%)	37.8% (22.6%)
会議室(1・2)	7,632	258 (558)	45.6% (32.9%)	55.7% (41.4%)
貸館合計	69,929	1,477 (3,312)	59.3% (40.4%)	53.6% (39.1%)
1room入場者数	93,582			
てててパーク	9,067			
総入場者数	172,578			

開館日数	283
------	-----

※令和4年10月11日～令和5年4月27日までリニューアルのため休館

(3) 各区文化センター

① 文化センター講座・地域連携事業

ア 事業方針

- ・「地域住民とともに歩む文化センター」として市民の文化活動ニーズに対応、講座事業や地域連携事業の実施
- ・子育て世代、子ども対象に参加しやすい料金設定でのイベント、講座を増やす
- ・伝統文化の継承、発展に伴う事業を増やす
- ・文化センター、神戸文化ホールが連携した事業を推進。
- ・財団が有する文化事業運営ノウハウや、文化団体との人的ネットワークを活用

イ 事業内容

(ア) 講座事業

入門者・初心者対象の文化・教養・スポーツなどの講座を、新規に学びたい方にも試みやすい3ヶ月単位の期間（春季・夏季・秋季・冬季）に変更したことで神戸市内の他大手カルチャースクールが事業撤退あるいは縮小していく最近の状況下でも着実に講座事業を継続運営している。講師・助手の貢献に報いるため、長年据え置いてきた謝金を概ね5%のベースアップを実施した。

(イ) 伝統文化の継承発展事業

文化庁の委託事業「伝統文化親子体験教室」として、茶・華・書道の市民公募の親子体験イベントを中央区文化センター多目的ルームで夏休みに実施した。その後、各分野の体験教室を中央、灘、長田の各文化センターで数回実施した。

地域で継承される農村歌舞伎、須磨琴などの伝統文化を親子対象に事業展開を図った。

また、8回目となる「書に親しむ書の芸術祭」を実施し、新聞各紙にも取り上げられるなど、注目を浴びた。地域の事業から全市に広がりを展開できるよう継続する。

(ウ) 文化センターと文化ホールの連携事業

文化センターと文化ホールの連携事業として年末恒例となった第8回「市民の第九」を実施した。

合唱グループによらず、市民一人一人を各文化センターで集め約半年のレッスンをを行い、市民合唱団員約260名、オーケストラにはプロ演奏者に加え、公募で集まったハイレベルな市民演奏者約10名が神戸文化ホール大ホールで成果を披露した。

参加者は毎年4割ほどが入れ替わり、観客としても新しい層が来場され市民に広がりを見せている。

ウ 講座等事業実績

講座実績

令和5年4月1日～令和6年3月31日

		東灘区文化センター	灘区文化センター	中央区文化センター	兵庫区文化センター	北区文化センター	北神区文化センター	長田区文化センター	須磨区文化センター	北須磨文化センター	垂水区文化センター	西区文化センター	計
定例講座	講座数	244	409	-	323	345	462	399	259	372	374	564	3,751
	定員(人)	4,057	7,690	-	6,808	6,659	6,240	8,480	3,419	6,612	7,027	10,542	67,534
	応募者数(人)	3,660	6,345	-	4,807	3,704	5,162	6,288	2,603	4,740	6,287	8,558	52,154
	応募率	90.2%	82.5%	-	7060.8%	55.6%	82.7%	74.2%	76.1%	71.7%	89.5%	81.2%	77.2%
	受講者数(人)	3,396	5,882	-	4,457	3,488	4,842	5,828	2,472	4,427	5,781	7,750	48,323
	受講率	83.7%	76.5%	-	65.5%	52.4%	77.6%	68.7%	72.3%	67.0%	82.3%	73.5%	71.6%
随時講座	講座数	15	12	5	19	27	19	14	14	20	4	27	176
	定員(人)	436	222	270	474	431	250	155	295	1,098	107	504	4,242
	受講者数	374	182	229	350	208	173	67	174	526	88	420	2,791
	受講率	85.8%	82.0%	84.8%	73.8%	48.3%	69.2%	43.2%	59.0%	47.9%	82.2%	83.3%	65.8%
定例&随時講座受講者数(人)		3,770	6,064	229	4,807	3,696	5,015	5,895	2,646	4,953	5,869	8,170	51,114
定例&随時講座受講率		83.9%	76.6%	84.8%	66.0%	52.1%	77.3%	68.3%	71.2%	64.2%	82.3%	74.0%	71.2%
前年度の受講率		81.9%	77.3%	76.8%	69.2%	52.1%	80.2%	68.4%	73.1%	66.4%	84.0%	72.8%	71.8%

イベント実績

令和5年4月1日～令和6年3月31日

		東灘区文化センター	灘区文化センター	中央区文化センター	兵庫区文化センター	北区文化センター	北神区文化センター	長田区文化センター	須磨区文化センター	北須磨文化センター	垂水区文化センター	西区文化センター	センター計	合同イベント	合計
A 演奏会	回数	10	2	7	0	7	11	4	8	6	4	6	65		65
	来場者数	2,550	447	733	0	1,816	2,408	533	1,004	906	2,171	1,778	14,346		14,346
B 演劇・伝統芸能	回数	2	1	1	0	2	0	1	4	0	0	4	15		15
	来場者数	550	87	204	0	216	0	7	410	0	0	1,056	2,530		2,530
C 発表会	回数	3	1	0	1	1	4	1	1	0	1	2	15	1	16
	来場者数	925	380	0	800	230	1,000	305	110	0	400	750	4,900	211	5,111
D その他	回数	2	5	3	2	4	6	13	1	1	1	9	47		47
	来場者数	720	701	155	66	187	981	1,915	100	397	350	4,607	10,179		10,179
合計	回数	17	9	11	3	14	21	19	14	7	6	21	142	1	143
	来場者数	4,745	1,615	1,092	866	2,449	4,389	2,760	1,624	1,303	2,921	8,191	31,955	211	32,166

② 神戸市室内管弦楽団・神戸市混声合唱団

ア 事業方針

- ・各区文化センターにおける質の高い演奏の提供

イ 事業内容

各区文化センターにおいて、令和4年度から新たにスタートした神戸市室内管弦楽団による、安価な料金で休憩なし60分以内の企画を引き続き実施した。公演後にはトークなどの交流プログラムを実施するほか、定期演奏会で取り上げないような作品、出演者の組み合わせを積極的に試み、市民に新しい音楽体験を届けた。

ウ 令和5年度神戸市室内管弦楽団・神戸市混声合唱団実績（文化センター関連）

令和5年4月1日～令和6年3月31日

事業名		開催日	公演数	開催場所	入場者数（人）
室内	セレクションⅢ	8/5	1	東灘区文化センター うはらホール	274
	セレクションⅣ	2/23	2	長田区文化センター別館 ピフレホール	1回目：268 2回目：142
混声	あなたに贈るコンサート	6/18・10/29	2	北神区文化センター ありまホール 東灘区文化センター うはらホール	1回目：239 2回目：383
	わがまちコンサート ピフレ	11/19	1	長田区文化センター別館 ピフレホール	377
	ファミリーコンサート	1/28	1	中央区文化センター 多目的ホール	101
合計					1,784

③ 文化振興事業

ア 事業方針

- ・市民のくらしに芸術文化を根づかせる取り組み

イ 事業内容

市民による芸術文化活動の発表機会を創出するため、「シャンソン・ポピュレールコンクール（神戸大会）」等を実施した。

ウ 令和5年度文化振興事業実績（文化センター関連）

令和5年4月1日～令和6年3月31日

	事業名	開催時期	開催場所	入場者数(人)
1	全日本シャンソン・ポピュラーコンクール (神戸大会)	6/3	長田区文化センター別館 ピフレホール	168
2	全日本シャンソン・ポピュラーコンクール (セミファイナル)	8/5	長田区文化センター別館 ピフレホール	149
3	神戸フォーレ協会 ボンジュール・フランス (室内楽名曲シリーズ)	6/25	東灘区文化センター うはらホール	200
4	神戸三曲協会独奏会	3/17	東灘区文化センター うはらホール	200
5	こうべ文化芸術相談窓口 子どもワークショップ「Suki×2 STAMP」	1/21	東灘区文化センター	38
6	こうべ文化芸術相談窓口 勉強会「伝わる企画書とポートフォリオ」	7/8	中央区文化センター	21
7	こうべ文化芸術相談窓口 子どもワークショップ「アフリカダンス&ドラム体験」	3/17	中央区文化センター	49
8	こうべ文化芸術相談窓口 子どもワークショップ「消しゴムはんこをつくろう！」	3/24	中央区文化センター	9
9	こうべ文化芸術相談窓口 アート展示「C+Kobe」	2/2～2/13 2/16～2/27	中央区文化センター	480
合計				1,314

④ 情報発信

文化センターの情報発信機能の充実を図るため、チラシやホームページでの情報提供のほか、ポスティング、文化センターだよりの発行、友の会運営に取り組むとともに SNS を積極的な活用 に努めた。

⑤ 文化センター貸館・管理事業

ア 事業方針

- ・料金割引制度や利用団体への広報・相談サポート等と積極的な広報活動による利用促進
- ・長年培ったノウハウの活用による、安全・安心で快適な利用環境の提供
- ・市立の貸館施設として、公的機関及び団体に研修・会合・健診等の誘致活動を実施
- ・財団が運営する定例講座とは別に、利用率の低い貸室を市民の「教えたい」ニーズ対応として貸館利用で講師が、一定期間講座を開設することで、市民の「学びたい」ニーズにも応え、利用率改善にもつなげる
- ・多くの市有施設を一体管理する新貸館システム（あじさいネット）を令和5年度初期から導入し利用者の利便性を向上させる

イ 事業内容

(ア) サービスと利便性の向上

例：休館日の祝日開館、インターネット予約受付、インターネット無料接続サービスの提供、利用料金の割引対象拡充、利用料金等のキャッシュレス決済の導入、市有施設利用申し込み一体管理システム（あじさいネット）導入など

(イ) 地域文化団体との連携強化による情報発信や運営サポート支援

例：地域文化団体の利用料金割引拡充、貸館利用団体専用掲示板設置など

(ウ) 積極的な貸館セールス

例：「文化センターだよりの発行、「友の会」・ホームページの活用
入口付近設置の大型ディスプレイによる、空室状況の掲示

(エ) 省エネルギーや環境を意識した設備管理

例：節電、環境保護の取り組みの日常業務への組み入れ

ウ 文化センター利用状況表

※利用率・・・実利用率

令和5年4月～令和6年3月

		東灘区文化センター	灘区文化センター	兵庫区文化センター	北区文化センター	北神区文化センター	長田区文化センター	別館 ビブレホール	須磨区文化センター	北須磨文化センター	垂水区文化センター	西区文化センター	中央区文化センター	合計	
貸室利用	(大会議室)	利用者数	66,287	31,957	-	17,785	18,636	37,184	44,854	10,138	3,360	36,201	24,024	24,428	314,854
		利用件数	628	778	-	282	343	447	436	284	202	338	741	599	5,078
		利用率(%)	66.6%	80.1%	-	31.2%	36.0%	45.8%	45.0%	29.7%	28.7%	36.0%	77.8%	61.4%	49.6%
	会議室	利用者数	68,004	49,954	53,866	37,705	48,508	47,252	21,132	29,423	9,274	77,589	65,931	142,046	650,684
		利用件数	3,458	3,404	3,748	3,089	3,647	3,166	1,365	2,429	1,288	5,097	4,635	11,508	46,834
		利用率(%)	58.6%	69.8%	38.5%	52.9%	54.3%	36.1%	46.6%	41.4%	26.1%	58.0%	67.7%	53.8%	50.6%
	特目室	利用者数	44,221	47,443	18,303	7,558	23,157	14,778	25,030	17,847	10,798	29,985	39,412	50,000	328,532
		利用件数	3,393	3,759	1,472	825	2,254	1,530	1,344	2,106	995	1,659	4,823	3,467	27,627
		利用率(%)	49.4%	43.2%	30.2%	28.6%	38.6%	26.2%	35.9%	35.9%	20.2%	34.0%	61.5%	43.3%	39.3%
	(プールの室)	利用者数	-	35,858	41,314	49,688	-	60,901	-	-	67,703	閉館	-	-	255,464
		利用件数	-	959	1,819	2,616	-	2,736	-	-	1,944		-	-	10,074
		利用率(%)	-	98.4%	93.3%	89.1%	-	70.0%	-	-	92.0%		-	-	84.8%
	合計	利用者数	178,512	165,212	113,483	112,736	90,301	160,115	91,016	57,408	91,135	143,775	129,367	216,474	1,549,534
		利用件数	7,479	8,900	7,039	6,812	6,244	7,879	3,145	4,819	4,429	7,094	10,199	15,574	89,613
		利用率(%)	54.6%	57.3%	42.5%	54.2%	46.2%	40.4%	41.1%	38.0%	35.0%	48.6%	65.2%	51.3%	48.4%
前年同期	利用者数	248,576	321,489	128,915	178,053	107,509	181,140	141,033	75,123	115,388	171,677	171,376	172,973	2,013,252	
	利用件数	7,266	10,112	7,142	6,776	6,164	7,930	3,067	4,528	6,156	7,470	8,500	9,226	84,337	
	利用率(%)	52.4%	64.8%	43.2%	53.1%	42.5%	40.7%	40.1%	35.5%	36.7%	51.8%	54.2%	43.8%	46.8%	

収益事業

(1) 神戸文化ホール貸館・管理事業

神戸文化ホールにおいて、コンベンションなど文化活動以外を目的とする活動の場の提供を図る。また自動販売機設置や駐車場など神戸文化ホール利用者へのサービス向上を行う。

※施設概要	大ホール	: 2043 席
	中ホール	: 904 席
	リハーサル室	: 150 名
	練習室 1～5	: 15 名～150 名
	多目的室・特別控室	
	自動販売機	: 7 台
	駐車場（神戸文化ホール練習場）	: 10 台

【貸館利用件数】	大ホール	合計 255 件	うち収益 77 件
	中ホール	合計 252 件	うち収益 49 件

(2) 新開地アートひろば貸館・管理事業

リニューアルを経て、新たに、子育て世代をはじめとした幅広い人々が集う地域に開かれた施設を目指した。結果として特に1階は、子ども向けスペースや、飲食店舗「はっちゃんの台所」など、利用者が気軽に立ち寄り、集いやすいスペースとしての運営を図ることで、来館人数の向上を達成した。

※施設概要	多目的ホール	: 232 席
	ギャラリー	: 129 m ² 程度
	リハーサル室 1～2	: 120 m ² ～189 m ²
	会議室 1～2、スタジオ 1～3、1room 等	
	てててパーク	: 88 m ²
	自動販売機	: 3 台

【貸館利用件数】	ホール	合計 377 件	
	ギャラリー	合計 678 件	
	リハーサル室	合計 719 件	
	スタジオ	合計 610 件	
	アトリエ	合計 370 件	
	会議室	合計 558 件	
	貸館合計	3,312 件	うち収益 213 件

(3) 文化センター講座事業

当財団が指定管理者として管理運営する文化センターにおいて、美容・スポーツなどの文化振興目的以外で利用者ニーズの高い講座や自主事業を開催する。

※例 講座：健康体操、スポーツ吹矢、バドミントン、卓球、水泳など
自主事業：コミュニティフェスティバル、卓球大会など

【定例講座件数】	合計 3,751 件	うち収益 1,203 件
----------	------------	--------------

(4) 文化センター貸館・管理事業

指定管理者である文化センターにおいて、イベントなど文化活動以外を目的とする活動の場を提供する。また自動販売機設置や駐車場等文化センター利用者へのサービス向上を行う。

※施設概要 大ホール、体育施設、プール
会議室、多目的室
和室・音楽室・美術室・陶芸室等
自動販売機 : 34 台
駐車場（北神区文化センター） : 123 台

【貸館利用件数】 合計 89,613 件 うち収益 34,888 件

法人管理運営事業（法人運営全体に関わる事業）

（１）専門性の強化・効率的な執行体制の構築

芸術文化事業についての研修等の充実を図り、職員の知識の向上及び専門性の強化など人材育成に努めるとともに、優秀な職員を固有職員として登用した。

職員研修を充実させ、職員に基礎実務研修や専門家を招聘した特別講義等を定期的に開催し、人材育成プログラムの充実を図っている。

令和３年度から、経験豊富な人材を積極的に登用し新文化ホールを見据えた演奏事業、文化ホール事業の強化を行うほか、イベント運営のノウハウ修得も目指し「六甲ミーツ・アート芸術散歩」の事務局を担う六甲山観光株式会社への人的支援を引き続き実施している。

自主事業の職員参加実績（再掲）

令和5年4月1日～令和6年3月31日

No.	日付 (公演日)	事業名	会場(施設名)	参加者数(人)
1	4/28-30	劇団唐組第71回公演「透明人間」	湊川公園	3
2	5月19日	神戸文化ホール開館50周年記念事業 ガラ・コンサート「神戸から未来へ」	文化ホール大ホール	5
3	6月17日	神戸文化ホール ウェルカムジャンボリー2023 コブホであそぼ!	神戸文化ホール 大ホール	8
4	7月30日	アートマネジメント講座 スペシャル講座(講師:宮城聡)	中央区文化センター 多目的ルーム	25
5	8月5日	エアー～不思議な空の旅～	神戸文化ホール 中ホール	4
6	9月2日	神戸市室内管弦楽団第159回定期演奏会「新世界の扉をたたけ！」	文化ホール大ホール	1
7	9月16日	神戸市混声合唱団 秋の定期演奏会「仏蘭西からの贈り物」	文化ホール大ホール	1
8	9月17日	第46回 東西落語名人選	神戸文化ホール 中ホール	5
9	9月29日	神戸ジャズ100周年記念コンサート「KOBETAZZ100 Concert Vol. 1」	文化ホール中ホール	6
10	9月30日	アートマネジメント講座 実践講座①(講師:中脇健児)	あすてっぶKOBETAZZ セミナー室1・2	19
11	10月21日	緑のテーブル2017 ～神戸文化ホール開館50周年記念Ver.～	神戸文化ホール 中ホール	10
12	10月28日	アートマネジメント講座 実践講座②(講師:古川知可子)	あすてっぶKOBETAZZ セミナー室1・2	22
13	11/14-11/17	こころの劇場神戸公演 劇団四季ミュージカル「ジョン万次郎の夢」	神戸文化ホール 大ホール	4
14	11月15日	神戸ジャズ100周年記念コンサート「KOBETAZZ100 Concert Vol. 2」	文化ホール中ホール	6
15	12月2日	アートマネジメント講座 実践講座③(講師:前田明子)	あすてっぶKOBETAZZ セミナー室1・2	12
合 計				131

（２）経営基盤の強化

事業における更なる経費の見直し、ICTの活用による業務の効率化などを進めるとともに、公益性の高い事業に対し国等からの外部助成金の積極的な獲得を行った。

また、当財団事業について、改めて再構築の観点から徹底的な見直しを進め、事業部毎の独立採算を目指し、令和３年度よりセグメント会計を導入している。

指定管理施設利用実績

1 神戸文化ホール

		令和4年度実績	令和5年度実績
利用率 (踏入率)	大ホール	68.6%	82.9%
	中ホール	79.5%	83.8%
利用率 (実利用率)	大ホール	58.1%	73.8%
	中ホール	70.6%	74.2%
利用者数	大中ホール	254,802人	303,543人
	練習室含む	296,132人	344,787人
利用者満足度		100%	98%
友の会 加入数	個人	671人	501人

2 新開地アートひろば

		令和4年度実績	令和5年度実績
利用率 (踏入率)	ホール	65.1%	54.0%
	ギャラリー	77.7%	82.5%
利用率 (実利用率)	ホール	59.5%	48.8%
	ギャラリー	77.7%	82.5%
利用者数		78,993人	172,578人
利用者満足度		99.43%	99.73%

3 文化センター

		令和4年度実績	令和5年度実績
利用率 (踏入率)	全体	71.4%	75.0%
	うちホール	66.0%	70.0%
利用率 (実利用率)	全体	43.9%	48.4%
	うちホール	45.0%	49.6%
講座受講者数		49,668人	51,114人
利用者満足度		97.3%	98%

具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）

【神戸からの創造・発信を行う】

KPI	R5年度実績
（事業部） 令和5年度より企画・制作及び発信型事業 年1演目以上実施	達成 13回
（事業部） 他館連携型の事業の企画・実施 年1回以上	達成 1回
（事業部、管理部、新開地アートひろば、 文化センター部及び文化センター） 文化センター、新開地アートひろばで行われ る公演のうち、その発展性を見込んで文 化ホールでの開催に移行するものの選定 年1回以上	達成 1回
（事業部） 相談窓口利用者の発展的活動展開 利用者 の70%以上	未達成 利用者アンケート回答で「発展的 な活動につながった」と回答50%

【地域社会の絆をつなぐ】

KPI	R5年度実績
（事業部、管理部、新開地アートひろば、 文化センター部及び文化センター） 公演におけるバリアフリーへの工夫 自主 事業毎に1つ以上	達成 こどもコンサートにおける点字 プログラム配布、「To R mansion の”へんてこ”フェス in 新開地」 車いすでの鑑賞対応、文化センタ ー子供向けイベントでのベビー カー置き場の設置等
（事業部、新開地アートひろば、文化セン ター部及び文化センター） 社会包摂型の自主事業 年に1回以上	達成 13回（こどもコンサート関連事業 含む）
（事業部、新開地アートひろば、文化セン ター部及び文化センター） 多文化共生を目指す自主・共催事業等 年 に1回以上	達成 11回（こどもコンサート関連事業 含む）
（総務課） C情報フォロー数1万人以上	未達成 2,681人（令和6年6月時点）
（新開地アートひろば、文化センター部及 び文化センター） 各文化センターにて地域文化活性化事業を 実施 年3回以上	達成 各文化センター年3回以上実施
（新開地アートひろば、文化センター部及 び文化センター） 講座参加者数20%増（対令和3年度比。講 師主催講座含む。）	未達成 13%増

【くらしと芸術文化をつなぐ】

KPI	R5年度実績
（事業部、新開地アートひろば、文化センター部及び文化センター） 市民ネットモニターアンケート「過去1年間で芸術文化を鑑賞した人の割合（絵画・音楽・演劇・映画・ダンス等）80%以上	未達成 54.9% ※R4年度実施
（事業部、新開地アートひろば、文化センター部及び文化センター） 敷居を下げた参加しやすい自主事業の企画、継続実施 年に5回以上	達成 20回
（事業部） 異分野との連携による事業の企画・実施 年1回以上	達成 5回

【学ぶ、トライするを支える】

KPI	R5年度実績
（事業部、新開地アートひろば、文化センター部及び文化センター） アートマネジメント人材養成事業への参加者 年100人以上	達成 170人
（事業部、新開地アートひろば、文化センター部及び文化センター） 新たな市民を呼び込む事業数 年30回以上	達成 50回
（文化センター部及び文化センター） 講座参加者数20%増（再掲）	未達成 13%増
（事業部文化ホール事業課及び演奏課） 市内小学生が実演芸術を経験する 小学校期間中に1回以上	達成 （例）演奏課 インリーチ・アウトリーチ等

【経営を安定化する】

KPI	R5 年度実績
(全部署) 助成金の新規申請及び獲得 毎年度新規 1 件以上増	達成 3 件
(総務部) 一般正味財産が必要とされる充当額を毎年度下回らない	達成 R5 年度 33,693,993
(総務部) 財政・経理に関する職員研修 毎年度 1 回以上	達成 2 回
(総務部) 常勤役員を除く、課長級以上の市出向職員の比率 40% 以下	達成 21%

3 令和5年度決算

(1) 事業別収支計算書

(令和5年4月1日～令和6年3月31日, 単位: 円)

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
公益目的事業会計	2,124,697,737	公益目的事業会計	2,133,134,168
文化振興事業収入	38,839,852	文化振興事業支出	35,879,361
演奏事業関係収入	256,460,297	演奏事業関係支出	261,547,876
営業企画収入	4,600,090	営業企画支出	6,724,861
文化ホール公演事業収入	82,725,799	文化ホール公演事業支出	89,396,748
文化ホール貸館・管理事業収入	299,965,081	文化ホール貸館・管理事業支出	306,955,352
新開地アートひろば公演事業収入	17,163,202	新開地アートひろば公演事業支出	17,339,410
新開地アートひろば貸館・管理事業収入	147,210,418	新開地アートひろば貸館・管理事業支出	150,457,373
文化センター講座等事業収入	350,664,125	文化センター講座等事業支出	334,500,555
文化センター貸館・管理事業収入	874,090,844	文化センター貸館・管理事業支出	885,713,581
あじさいホール運営収入	22,440,000	あじさいホール運営支出	22,440,000
50周年事業収入	30,538,029	50周年事業支出	22,179,051
収益事業等会計	681,117,519	収益事業等会計	648,007,122
文化ホール貸館・管理事業収入	63,488,459	文化ホール貸館・管理事業支出	57,343,320
新開地アートひろば貸館・管理事業収入	5,839,277	新開地アートひろば貸館・管理事業支出	4,526,928
文化センター講座等事業収入	170,751,908	文化センター講座等事業支出	153,076,191
文化センター貸館・管理事業収入	441,037,875	文化センター貸館・管理事業支出	433,060,683
法人会計	91,726,007	法人会計	82,705,980
財団管理運営事業収入	91,726,007	財団管理運営事業支出	82,705,980
当期収入合計 (A)	2,897,541,263	当期支出合計 (B)	2,863,847,270
		当期収支差額 (A) - (B)	33,693,993

* 神戸市からの収入

(1) 補助金 340,649千円

(2) 受託料 1,171,422千円

(2) 正味財産増減計算書

(令和5年4月1日～令和6年3月31日, 単位: 円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業会計	法人会計	合 計
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用収益	0	0	334,851	334,851
文化事業収益	433,808,070	170,751,908	0	604,559,978
事業受託収益	3,187,293	0	0	3,187,293
管理受託収益	970,045,754	363,544,067	0	1,333,589,821
施設利用料金収益	409,729,831	146,820,953	0	556,550,784
受取補助金等	307,873,789	591	71,597,000	379,471,380
受取寄付金	53,000	0	10,000	63,000
受取利息	0	0	142	142
雑収益	0	0	19,784,014	19,784,014
経常収益計	2,124,697,737	681,117,519	91,726,007	2,897,541,263
(2) 経常費用				
事業費	2,133,134,168	648,007,122	0	2,781,141,290
管理費	0	0	79,579,148	79,579,148
経常費用計	2,133,134,168	648,007,122	79,579,148	2,860,720,438
当期経常増減額	△ 8,436,431	33,110,397	12,146,859	36,820,825
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	1,062,432	1,062,432
当期経常外増減額	0	0	△ 1,062,432	△ 1,062,432
他会計振替額	7,284,211	△ 7,284,211		0
税引前当期一般正味財産増減額	△ 1,152,220	25,826,186	11,084,427	35,758,393
法人税、住民税及び事業税	0	2,064,400	0	2,064,400
当期一般正味財産増減額	△ 1,152,220	23,761,786	11,084,427	33,693,993
一般正味財産期首残高	△ 2,666,237	231,540,699	△ 152,936,187	75,938,275
一般正味財産期末残高	△ 3,818,457	255,302,485	△ 141,851,760	109,632,268
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	200,000,000	0	0	200,000,000
指定正味財産期末残高	200,000,000	0	0	200,000,000
正味財産期首残高	197,333,763	231,540,699	△ 152,936,187	275,938,275
III 正味財産期末残高	196,181,543	255,302,485	△ 141,851,760	309,632,268

(3)貸借対照表

(令和6年3月31日現在, 単位: 円)

科 目	金額	科 目	金額
I 資産の部		II 負債の部	
1. 流動資産		1. 流動負債	
現金	5,078,836	未払金	272,521,212
預金	185,342,025	前受金	143,024,678
未収金	213,382,861	預り金	19,589,034
前払金	1,875,292	賞与引当金	10,669,892
預け金	26,000	流動負債合計	445,804,816
流動資産合計	405,705,014	2. 固定負債	
2. 固定資産		退職給付引当金	9,958,092
(1)基本財産		固定負債合計	9,958,092
投資有価証券	209,482,246	負債合計	455,762,908
預金	7,427,754		
基本財産合計	216,910,000		
(2)特定資産		III 正味財産の部	
退職給付引当資産	9,958,092	1. 指定正味財産	
特定費用準備資金	96,400,000	基本財産	200,000,000
特定資産合計	106,358,092	指定正味財産合計	200,000,000
(3)その他固定資産		(うち基本財産への充当額)	(200,000,000)
什器備品	3,836,520	2. 一般正味財産	109,632,268
保証金	32,585,550	(うち基本財産への充当額)	(16,910,000)
その他固定資産合計	36,422,070	(うち特定資産への充当額)	(92,722,268)
固定資産合計	359,690,162	正味財産合計	309,632,268
資産合計	765,395,176	負債及び正味財産合計	765,395,176

(4)財産目録

(令和6年3月31日現在, 単位: 円)

科 目	金額	科 目	金額
I 資産の部		II 負債の部	
1. 流動資産		1. 流動負債	
現金		未払金	
手元有高	5,078,836	神戸市精算金、未払法人税等	272,521,212
普通預金		前受金	
三井住友銀行ほか3行	185,010,875	文化ホール利用料等	143,024,678
振替預金		預り金	
ゆうちょ銀行	91,150	自主事業入場料収入等	19,589,034
定期預金		賞与引当金	10,669,892
三井住友銀行	240,000	流動負債合計	445,804,816
未収金	213,382,861		
前払金	1,875,292		
預け金	26,000		
流動資産合計	405,705,014		
		2. 固定負債	
2. 固定資産		退職給付引当金	9,958,092
(1) 基本財産		固定負債合計	9,958,092
投資有価証券			
地方債等	209,482,246		
普通預金	517,754		
定期預金	6,910,000		
基本財産合計	216,910,000		
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	9,958,092		
特定費用準備資金	96,400,000		
特定資産合計	106,358,092		
(3) その他固定資産			
什器備品	3,836,520		
保証金	32,585,550		
その他固定資産合計	36,422,070		
固定資産合計	359,690,162		
		負債合計	455,762,908
資産合計	765,395,176	差引正味財産	309,632,268

(5) 事業別収入明細書

(令和5年4月1日～令和6年3月31日, 単位: 円)

科 目	収 入	内 訳						
		事業収入	指定管理料等 収入	補助金収入	助成金収入	利用料金 収入	寄付金収入	その他収入
公益目的事業会計	2,124,697,737	436,995,363	970,045,754	276,852,000	31,021,789	409,729,831	53,000	0
文化振興事業収入	38,839,852	13,488,852	0	20,601,000	4,750,000	0	0	0
演奏事業収入	256,460,297	33,269,297	0	202,251,000	20,937,000	0	3,000	0
営業企画収入	4,600,090	90	0	4,600,000	0	0	0	0
文化ホール公演事業収入	82,725,799	15,750,568	48,606,231	16,460,000	1,909,000	0	0	0
文化ホール貸館・管理事業収入	299,965,081	0	135,870,691	0	0	164,094,390	0	0
新開地アートひろば公演事業収入	17,163,202	1,162,002	10,000,000	5,500,000	500,000	1,200	0	0
新開地アートひろば貸館・管理事業収入	147,210,418	0	134,720,784	0	0	12,489,634	0	0
文化センター講座等事業収入	350,664,125	350,344,125	0	0	320,000	0	0	0
文化センター貸館・管理事業収入	874,090,844	0	640,848,048	0	98,189	233,144,607	0	0
あじさいホール運営収入	22,440,000	0	0	22,440,000	0	0	0	0
50周年事業収入	30,538,029	22,980,429	0	5,000,000	2,507,600	0	50,000	0
収益事業等会計	681,117,519	170,751,908	363,544,067	0	591	146,820,953	0	0
文化ホール貸館・管理事業収入	63,488,459	0	33,004,405	0	0	30,484,054	0	0
新開地アートひろば貸館・管理事業収入	5,839,277	0	5,505,111	0	0	334,166	0	0
文化センター講座等事業収入	170,751,908	170,751,908	0	0	0	0	0	0
文化センター貸館・管理事業収入	441,037,875	0	325,034,551	0	591	116,002,733	0	0
法人会計	91,726,007	0	0	63,797,000	7,800,000	0	10,000	20,119,007
管理運営事業収入	91,726,007	0	0	63,797,000	7,800,000	0	10,000	20,119,007
合 計	2,897,541,263	607,747,271	1,333,589,821	340,649,000	38,822,380	556,550,784	63,000	20,119,007

(6) 事業別支出明細書

(令和5年4月1日～令和6年3月31日, 単位: 円)

科 目	合 計	内 訳	
		人 件 費	物 件 費
公益目的事業会計	2,133,134,168	321,384,003	1,811,750,165
文化振興事業支出 (あじさいホール事業を含む)	58,319,361	9,852,705	48,466,656
演奏事業関係支出	261,547,876	54,236,946	207,310,930
営業企画支出	6,724,861	6,228,759	496,102
文化ホール関係支出	396,352,100	73,558,754	322,793,346
新開地アートひろば関係支出	167,796,783	60,418,882	107,377,901
文化センター関係支出	1,220,214,136	117,087,957	1,103,126,179
50周年事業	22,179,051	0	22,179,051
収益事業等会計	648,007,122	66,762,726	581,244,396
文化ホール関係支出	57,343,320	6,973,057	50,370,263
新開地アートひろば関係支出	4,526,928	1,804,478	2,722,450
文化センター関係支出	586,136,874	57,985,191	528,151,683
法人会計	82,705,980	46,068,791	36,637,189
管理費等支出	82,705,980	46,068,791	36,637,189
合 計	2,863,847,270	434,215,520	2,429,631,750

(7)財務状況の推移

(単位：千円)

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	4 → 5 増減	
正味財産増減計算書	一般正味財産増減の部	当期経常増減額	146,793	▲ 36,384	36,821	73,205
		経常収益	2,870,435	2,848,801	2,897,541	48,740
		うち公益	1,972,410	1,920,062	2,124,698	204,636
		うち公益以外	898,025	928,739	772,843	▲ 155,896
		経常費用	2,723,642	2,885,185	2,860,720	▲ 24,465
		うち事業費（公益）	1,911,023	1,954,004	2,133,134	179,130
		うち事業費（公益以外）	716,308	778,095	648,007	▲ 130,088
		うち管理費（公益）	0	0	0	0
		うち管理費（公益以外）	96,311	153,086	79,579	▲ 73,507
		評価損益等	0	0	0	0
	当期経常外増減額	0	▲ 10	▲ 1,062	▲ 1,052	
	経常外収益	0	0	0	0	
	経常外費用	0	10	1,062	1,052	
	法人税、住民税及び事業税	622	880	2,064	1,184	
	当期一般正味財産増減額	146,171	▲ 37,273	33,694	70,967	
	一般正味財産期首残高	▲ 32,960	113,211	75,938	▲ 37,275	
	一般正味財産期末残高	113,211	75,938	109,632	33,694	
	指定正味財産	当期指定正味財産増減額	0	0	0	0
		指定正味財産増加額	0	0	0	0
		指定正味財産減少額	0	0	0	0
うち一般正味財産への振替額		0	0	0	0	
指定正味財産期首残高		200,000	200,000	200,000	0	
指定正味財産期末残高		200,000	200,000	200,000	0	
正味財産期首残高	167,040	313,211	275,938	▲ 37,273		
当期正味財産増減	146,171	▲ 37,273	33,694	70,967		
正味財産期末残高	313,211	275,938	309,632	33,694		
貸借対照表（B/S）	資産合計	741,151	810,042	765,395	▲ 44,647	
	流動資産	377,757	502,359	405,705	▲ 96,654	
	固定資産	363,394	307,683	359,690	52,007	
	うち建物	0	0	0	0	
	負債合計	427,940	534,104	455,763	▲ 78,341	
	流動負債	421,388	525,361	445,805	▲ 79,556	
	うち短期借入金	0	50,000	0	▲ 50,000	
	固定負債	6,552	8,743	9,958	1,215	
	うち長期借入金	0	0	0	0	
	正味財産合計	313,211	275,938	309,632	33,694	
指定正味財産	200,000	200,000	200,000	0		
一般正味財産	113,211	75,938	109,632	33,694		

V 令和6年度事業計画

1 概 要

平成29年に改正された「文化芸術基本法」では、文化芸術の意義と価値を尊重しつつも、文化芸術そのものだけではなく、観光やまちづくり、国際交流、福祉、教育などと連携し、文化芸術により生み出されるさまざまな価値を活用することにより、心豊かな国民生活及び活力ある社会の実現に貢献することを目的としている。また、神戸市においては、「神戸2025ビジョン」やその具体的施策として、市の文化芸術施策が目指す姿や基本的な方向性を示す指針となる「神戸市文化芸術推進ビジョン」が策定されている。

当財団でも、これらのビジョン等を踏まえ、令和4年度から令和8年度を計画年度として策定した「中期経営計画2026」に基づいて、神戸市民の文化の活動の振興に資する事業を行っていく。

令和6年度については、神戸文化ホール開館50周年記念事業の2年目であり、神戸市混声合唱団・神戸市室内管弦楽団の総力を結集し、企画・立案・稽古・本番までの全工程を神戸で完結させるヴェルディ：オペラ「ファルスタッフ」をはじめ、「劇場讃歌」をテーマに様々な事業を実施する。また、新開地アートひろばや各区文化センターの管理運営を通して、子どもをはじめとするあらゆる世代の人々の交流や地域活性化及び文化芸術振興に資する事業を行っていく。

【主な事業内容】

(1) 神戸文化ホール開館50周年記念事業

神戸文化ホールは昭和48年10月に開館し、令和5年に開館50周年という大きな節目の年を迎え、50年間、神戸市民と共に文化創造に取り組み、発信し続けてきた。そして、これからも成長を続け、個性豊かな魅力ある神戸文化の創造に寄与すべく、令和5年度より『神戸文化ホール開館50周年記念事業 Creating in Kobe | 神戸で創る』を3年間に渡り行っている。

神戸が生み出した芸術家・芸術作品、神戸で活躍する芸術家などの貴重な文化資産、そして市域をこえた近隣地域の芸術活動にも焦点をあて、これまで神戸文化ホールが積み重ねてきた歴史に学びそれを発展させながら、神戸で実演芸術を新たに創り出す。

【令和6年度（2024年度）テーマ 劇場讃歌】

- 5/18（土） 「コッペリア～お人形の恋の物語～」
- 7/13（土） 「クレイジーキャメル」
- 9/11（水） 「十三代目市川團十郎白猿襲名披露巡業」
- 12/21（土） 「ファルスタッフ」
- 2/1（土）・2（日） 「リビングルームのメタモルフォーシス」

＜貞松・浜田バレエ団 ファミリーバレエ「コッペリア～お人形の恋の物語～」＞
クラシックバレエの人気作「コッペリア」を、幼児・児童、初めてバレエを鑑賞する方、長時間の鑑賞が難しい方など、年齢や障がいを越えて誰もが楽しめるよう様々な鑑賞サポートを用意して上演する。手話による同時通訳あり。0歳から入場可能。

＜大駱駝艦・天賦典式「クレイジーキャメル」＞
世界にB U T O Hの名を広め、ダンスシーンに衝撃を与え続けている磨赤兒が率いる大駱駝艦が、神戸文化ホールでの初公演から5年ぶりに再登場する。「クレイジーキャメル」は少年少女の淡い恋心を、ヴィヴァルディの「四季」に乗せて黄金の舞踏手たちが紡ぐ物語。

＜十三代目市川團十郎白猿襲名披露巡業＞
令和4年10月から執り行われている「十三代目 市川團十郎白猿 襲名披露」。約2年の歳月をかけて日本各地を巡業する歌舞伎界の一大行事が、その掉尾(ちょうび)を飾る直前に神戸文化ホールで襲名披露公演を行う。

＜ヴェルディ：オペラ「ファルスタッフ」＞
神戸市混声合唱団・神戸市室内管弦楽団の総力を結集し、ヴェルディのオペラ「ファルスタッフ」を上演する。
当演目は、大作曲家ヴェルディが人生最後に到達した、音楽と演劇が完全に融合した画期的な傑作であり、合唱団が生きる群像劇である。50周年事業のテーマ「神戸で創る Creating in Kobe」にふさわしく、企画・立案・稽古・本番までの全工程を神戸で完結させる。指揮は混声合唱団音楽監督の佐藤正浩、演出は神戸市出身の岩田達宗、キャストは、両楽団の団員と団出身者を中心とし、日本を代表する歌手も客演に迎える。「ホール・プロ楽団・プロ合唱団」を有する神戸の特色を最大限に活用し、アンサンブル・オペラの傑作に挑む。

＜リビングルームのメタモルフォーシス＞
気鋭の芸術家として世界的に知られる演出家・岡田利規と作曲家・藤倉大が、初めてのコラボレートする本作では、演劇と音楽のパフォーマンスを舞台上に並置。現代社会に切り込むフィクショナルな空間を生み出します。神戸文化ホール公演では神戸市室内管弦楽団によるアンサンブルが演奏を行う。日本初演（東京、神戸、愛知にてツアー上演）。

(2) 新開地アートひろば

<ニューあそび場の創造（年4回）>

令和5年度に引き続き、施設全体を『あそび場』として捉え多彩なジャンルのアーティストと協働する「ニューあそび場の創造」事業を実施する。当企画ではあそべる作品や空間をアーティストとともに創造し、体験から鑑賞まで様々な文化芸術に触れる機会を創出する。

<Go!Go!High school Project>

毎年夏休みの期間に、学校の枠を超えて出会った仲間と一本のお芝居を作り上げる高校生のための演劇ワークショップ。16回目を迎える令和6年度はナビゲーターにF0ペレイラ宏一朗氏を迎えワークショップと公演を実施する。

(3) KOBE まちなかパフォーマンス支援制度

神戸市では、アーティストの新たな活動機会の創出や、市民が文化芸術やエンターテインメントに気軽に触れられる機会の創出、まちの魅力向上を目的に、三宮・地下鉄沿線エリア等で市が設定したまちなかの公認会場において、市の審査に合格したアーティスト（登録アーティスト）が、専用システムを通じて公認会場の予約を行い、自主的、日常的にパフォーマンス活動を行うことができる制度を令和6年度当初より開始する。

財団としても、市に協力して本制度の運営に取り組み、アーティストの活動機会や活動場所の提供・充実につなげる。

2 事業計画

公益目的事業

(1) 文化ホール

① 文化ホール公演事業

ア 事業方針

- ・3ヵ年計画による開館50周年記念事業（令和5～7年度）を中心に、市民の誇りとなるような神戸発の創造発信事業や、先進的な取り組みを行っている優れた文化施設・芸術団体等と連携した作品群を展開 【創造発信・情報事業】
- ・普及拠点として誰もが舞台芸術に触れる機会を提供するとともに、神戸の街や市民と交流する文化芸術ネットワークを形成 【普及啓発・交流事業】
- ・全国の劇場や教育機関と連携して芸術文化の次世代の担い手を育成し、神戸における創造活動の持続可能性を高めていく 【育成・支援事業】

イ 事業内容

(ア) 創造発信・情報事業

2年目となる神戸文化ホール開館50周年記念事業の中核として、2023年にウィーン芸術週間で世界初演されたチェルフィッチュ×藤倉大「リビングルームのメタモルフォーシス」を日本初演として上演するほか、神戸では5年ぶりとなる大駱駝艦がその代表作「クレイジーキャメル」を上演。年6回発行する情報誌「ほーるめいと」はコラム等の読み物部分を充実させるなど、神戸文化ホールからの情報発信の強化に努める。

(イ) 普及啓発・交流事業

神戸文化ホール開館50周年記念事業における新たな試みとして、貞松・浜田バレエ団との共同事業の枠組みで、バレエ「コッペリア」をインクルーシブ（社会包摂）の考え方を積極的に採用した事業として実施する。さらに「こどもコブホ2024」シリーズとして、「ウェルカムジャンボリー」、「音楽劇 死んだかいぞく」を上演し、子ども・青少年が優れた舞台芸術に親しむ機会を提供する。さらに、神戸の商店街や公園、芸術団体等と交流する事業等を実施し、新たな観客を育成するとともに地域に必要とされるホール運営を目指す

(ウ) 育成・支援事業

芸術文化の次世代の担い手を育成し、神戸における創造活動の持続可能性を高めるための取り組みとして、専門人材を講師に招く「アートマネジメント人材養成講座」を全4回のシリーズとして開講するとともに、神戸市近隣の大学や専門職大学等の学生を臨地実習のインターンシップ生として神戸文化ホールが拠点となって受け入れる。また、文化庁事業の障害者による文化芸術活動推進事業を誘致し、鑑賞サポートや障害者の表現支援に関する映像上映や報告会を実施するほか、令和7年度に想定している演劇新作事業のためのワークショップ等を開催し、神戸の若手アーティストの掘り起こしや人的ネットワークの形成に努める。

ウ 令和6年度文化ホール公演事業一覧

(単位：人)

事業名	開催時期	公演数	開催場所	入場者数
創造発信・情報事業	5事業6公演1企画			6,000
大駱駝艦・天賦典式「クレイジーキャメル」	7/13	1	神戸文化ホール 中ホール	600
貞松・浜田バレエ団「創作りサイタル36」(2020年3月中止公演)	9/15	1	神戸文化ホール 中ホール	600
貞松・浜田バレエ団「くるみ割り人形」	12/14～15	2	神戸文化ホール 大ホール	3,000
ウィーン芸術週間委嘱作品 チェルフィッチュ×藤倉大 「リビングルームのメタモルフォーシス」	2/1～2	2	神戸文化ホール 中ホール	1,800
情報誌「ほーるめいと」	年6回発行			
普及啓発・交流事業	10事業20公演			20,864
劇団唐組第73回公演「泥人魚」	4/19～21	3	湊川公園 特設紅テント	765
こどもコブホ2024 貞松・浜田バレエ団 ファミリーバレエ 「コッペリア～お人形の恋の物語～」	5/18	1	神戸文化ホール 中ホール	883
こどもコブホ2024 神戸文化ホール ウェルカムジャンボリー2024 コブホであそぼ!	6/22	1	神戸文化ホール 大ホール	1,066
こどもコブホ2024 音楽劇「死んだかいぞく」	8/17	1	神戸文化ホール 中ホール	600
十三代目市川團十郎白猿襲名披露巡業	9/11	1	神戸文化ホール 大ホール	1,500
第48回 東西落語名人選	9/21	2	神戸文化ホール 中ホール	1,200
和太鼓松村組 神戸公演2024	11/2	1	神戸文化ホール 大ホール	1,500
劇団四季こころの劇場 神戸公演 ミュージカル「ガンバの大冒険」	11/26～29	8	神戸文化ホール 大ホール	12,000
PRAY FROM KOBE ～明日につなげるコンサート～	1/26	1	神戸文化ホール 大ホール	750
第十七回 神戸能	3/20	1	神戸文化ホール 中ホール	600
育成・支援事業	4事業5公演3企画			554
文化庁 障害者による文化芸術活動推進事業 シアターフォーオール 上映会・報告会	9/27	1	神戸文化ホール 中ホール	300
アートマネジメント人材養成講座 一般向け講座	9月～11月	4	中央区文化センター	200
アートマネジメント人材養成講座 連携大学インターンシップ	6月～2月		神戸文化ホール等	10
芸術文化観光専門職大学 臨地実務実習(劇場プロデュース実習)	夏季/冬季		神戸文化ホール等	4
神戸発演劇新作プロジェクト(令和7年度事業の前年度準備)	4月ほか		新開地アートひろば 等	40
神戸文化ホール事業合計	19事業31公演4企画			27,418

② 神戸市室内管弦楽団・神戸市混声合唱団

ア 事業方針

- ・神戸文化ホールにおける質の高い演奏の提供
- ・演奏水準のさらなる向上
- ・広報強化、アウトリーチの実施による両楽団の周知
- ・自主公演への集客強化と新たな依頼公演の獲得

イ 事業内容

(ア) 神戸市室内管弦楽団・神戸市混声合唱団

当財団が全国の自治体で唯一、ホール専属の神戸市室内管弦楽団と神戸市混声合唱団を保有・運営している強みを活かし、実力ある両団を核とした創造力あふれる企画発信や年齢や障がいを超えて子ども達が楽しむことができる「こどもコンサート」の実施など、普及啓発や社会包摂事業の充実をはかり、「音楽のまち神戸」のシティプロモーション、シビックプライドの醸成に資する。

(イ) 楽団の周知・魅力発信の取り組み

次代を担う子ども達に対する鑑賞機会の提供のため、小学生を神戸文化ホールに招待する「インリーチ事業」と、令和元年度より6年間で市内全小学校へ出張演奏を行う「アウトリーチ事業(6年目)」に地元の音楽家とも連携し継続して取り組んでいく。さらに、市内在住者が通う特別支援学校へのアウトリーチ(出張コンサート)も実施する。

また、令和4年1月から新たに開始した神戸市室内管弦楽団、神戸市混声合唱団の定期演奏会を1年間のセットで聴くことができる「定期会員制度」の募集、サービス内容を強化し、安定した固定客層の獲得を目指す。

引き続き、効果的な広告出稿、SNSの発信の工夫、記者懇談会の開催などで効果的な広報を展開する。

ウ 令和6年度神戸市室内管弦楽団・神戸市混声合唱団事業一覧(神戸文化ホール関連)

【自主公演】

(単位：人)

事業名		開催時期	公演数	開催場所	入場者数
神戸市室内管弦楽団	第162回定期演奏会 「英雄が時代を拓く」	4/13	1	神戸文化ホール 大ホール	573
	第163回定期演奏会 「果てなき道へ…」	6/15	1	神戸文化ホール 大ホール	707
	第164回定期演奏会 「光さす闇」	9/14	1	神戸文化ホール 大ホール	500
	第165回定期演奏会 「ジャン＝ギアン・ケラスを迎えて」	11/23	1	神戸文化ホール 大ホール	500
	第166回定期演奏会 「In Flower」	3/15	1	神戸文化ホール 大ホール	500
神戸市混声合唱団	合唱コンクール 課題曲コンサート	5/11	1	神戸文化ホール 大ホール	374
	秋の定期演奏会 「現代の祈りといにしへの世俗」	9/28	1	神戸文化ホール 大ホール	500
	春の定期演奏会 「阪哲朗の合唱」	3/29	1	神戸文化ホール 大ホール	500
合同	こどもコンサート	8/3	1	神戸文化ホール 大ホール	500
	神戸文化ホール開館50周年記念事業 ヴェルディ：オペラ 《ファルスタッフ》	12/21	1	神戸文化ホール 大ホール	1,000
自主公演合計					5,654

【主な依頼公演】

事業名		開催時期	公演数	開催場所	入場者数
混声	アウトリーチ事業（低学年）	5月下旬～3月末	31	市内小学校	4,650
合同	アウトリーチ事業（高学年）	5月下旬～3月末	31	市内小学校	4,650
室内	ろうきんコンサート	4/20, 4/21	2	尼崎市総合文化センター あましんアルカイックホール 神戸文化ホール 大ホール	2,231
室内	ろうきん 夏休みこどもコンサート	7/26	1	あいめつせホール	200
混声	佐藤正浩プロデュース・オペラシリーズ オペラ『真珠とり』 演奏会形式	8/31	1	住友生命いずみホール	800
合同	文化ホールインリーチ事業	2/6・7	4	神戸文化ホール 大ホール	6,000
依頼公演合計					18,531

③ 文化振興事業

ア 事業方針

- ・芸術文化による神戸ブランドの創造発信
- ・地元アーティスト・団体の芸術文化活動をサポートし、神戸文化の創造・発展に努める
- ・市民のくらしに芸術文化を根づかせる取り組み
- ・次世代の芸術文化の担い手や支え手の育成

イ 事業内容

(ア) 芸術文化による神戸ブランドの創造発信

神戸に根付いたジャズ文化を市内外へ発信するため、観光・商業・報道等さまざまなジャンルの民間企業・個人・官公庁等と連携し、「ジャズの街神戸」推進協議会の活動として、「神戸ユースジャズオーケストラ」の運営をはじめ、『神戸ジャズの日』記念イベントや、公式ウェブサイト「JAZZ TOWN KOBE」等を通じ、さまざまな神戸のジャズに関する情報を集約し、発信を行う。

また、神戸ジャズ100周年を機に、令和5年度より民間主体で企画・運営しているまちなかでのジャズイベント「Kobe Jazz Centennial」での事務局機能を担い、事業の継続実施に向けて支援することで、ジャズの魅力発信・普及啓発をはかる。

(イ) 情報収集・提供の充実

地元のアーティストや文化芸術関係者を対象に、ウェブサイトから気軽に相談できる「こうべ文化芸術相談窓口」を設置し、文化芸術活動に関する相談（資金調達、活動拠点、広報等）に対し、専門家等と連携し情報提供や助言等を実施する。また、アーティスト向けのセミナーや、文化センターとの連携事業（公募したアーティストによるワークショップ・アート展示等）など、学びや交流機会の提供、新たな活動機会の創出につながる取り組みを積極的に行う。

これらの取組を通じて、地域の文化芸術活動にかかる情報や、必要な知見、ネットワークを蓄積し、神戸の文化芸術振興・発展につなげていくことを目指す。

(ウ) 市民参加型芸術文化事業の充実

市民による芸術文化活動の発表機会を創出するため、「神戸市吹奏楽祭」や「モーブガレット交歓会」、「シャンソン・ポピュレールコンクール」等の事業を行う。

(エ) 地元芸術文化団体との協力関係の強化及び若手芸術家の発掘・支援

神戸文化の基盤となっている地元芸術文化団体の活動を支援するとともに、神戸市室内管弦楽団・神戸市混声合唱団が行っている市内小学校へのアウトリーチ事業を地元芸術団体と連携して行う等協力関係の強化を図る。また、「神戸市吹奏楽祭」、「JAPAN STUDENT JAZZ FESTIVAL」等を通じて今後の神戸文化の担い手となる若手人材の育成を支援する。

(オ) 芸術文化を担う人材の育成

アートマネジメント業界を志望する学生や文化芸術団体（劇場・音楽堂、実演団体）に所属するスタッフ等を対象とした講座の実施や、大学等と連携したインターンシップの受け入れ、あるいは学生等による自主的な公演制作の支援等を通じ、アートマネジメントの「担い手」養成を図る。また、今年度はスペシャル講座として文化庁参事官（生活文化創造担当）を講師に招き、神戸市を含めた自治体の文化関係の職員向けにも講座を実施する。

ウ 令和6年度文化振興課事業一覧（神戸文化ホール関連）

（単位：人）

事業名	開催時期	開催場所	入場者数
神劇まわり舞台	4月～3月	市内小劇場	1,200
こうべ文化芸術相談窓口 （アーティストからの相談対応）	通年	メールまたはオンライン	—
神戸ユースジャズオーケストラの運営 （「ジャズの街神戸」推進事業）	通年	100BANホール、ジーベックホールなど	—
KOBEJAZZDAY2024旧居留地コンサート （「ジャズの街神戸」推進事業）	4/7	旧居留地三井住友銀行神戸営業部前	700
神戸市吹奏楽祭	4/29, 11/3	神戸文化ホール大ホール	7,500
こうべ全国洋舞コンクール	5/3～5/6	神戸文化ホール大・中ホール	2,019
神戸三曲協会演奏会	6/9	神戸文化ホール中ホール	450
神戸フィルハーモニック定期演奏会等	6/30 10/13, 1/11	神戸文化ホール大ホール	1,500
神戸ジャズ道場（中止）	—	—	—
JAPAN STUDENT JAZZ FESTIVAL	8/23～8/25	神戸文化ホール大ホール	2,500
全日本シャンソン・ポピュラーコンクール （ファイナル）	9/28	神戸文化ホール中ホール	300
KOBE JAZZ CENTENNIAL	10/14	三宮・居留地周辺	10,000
神戸ジャズストリート	10/12・13	北野町界限10か所程度	2,000
神戸音楽家協会・神戸からのしらべ	10/27	神戸文化ホール中ホール	300
文化振興事業合計			28,469

④ フルートコンクール事業

令和7年度開催予定の第11回神戸国際フルートコンクールに向けた準備や関連事業等に取り組んでいく。

（単位：人）

事業名	開催時期	開催場所	入場者数
社会包摂事業 フルート×医療福祉(仮称)	2025年1月下旬	神戸文化ホール練習室・市内福祉施設等	40
[共催事業]第11回 アジア・フルートコングレス神戸2024、第5回 アジア・フルートコンクール 神戸 2024	2024年8月10-12日	神戸文化ホール中ホール 他	1,050
フルートコンクール事業合計			1,090

⑤ 情報発信

ア 神戸市室内管弦楽団・神戸市混声合唱団の情報発信強化

神戸市室内管弦楽団・神戸市混声合唱団について、専門人材のネットワーク・SNS を活用した積極的な情報発信、マスコミとの関係構築による記事化・放送化に引き続き取り組む。また、各公演に音楽評論家を招き、注目される団体としてのムーブメントを起こし告知に資するといった戦略的広報を更に進める。

イ インターネットによる情報発信

当財団が主催する主要事業などを幅広く紹介するとともに、管理している各施設の空室情報や講座の受講申込み、各種情報誌の内容をホームページに掲載する。

また、ツイッターやフェイスブック、インスタグラムなど多様な SNS を活用したリアルタイムの情報発信に積極的に取り組むとともに、動画共有サイト等による事業広報を展開する。

加えて、地元のアーティストや文化芸術関係者を対象とし、ウェブサイトから気軽に相談できる「こうべ文化芸術相談窓口」について、ホームページをより分かりやすいものに改善し、引き続き、広く利用を促すとともに、セミナーや座談会、交流会などの取組を通じて、地域の文化芸術活動にかかる情報や、必要な知見、ネットワークを蓄積し、神戸の文化芸術振興・発展につなげていく。

ウ 「KOBE C 情報」の発信

神戸を中心とした文化芸術イベント情報を主催者から提供いただき、ウェブサイトや SNS で広く発信。スマートこうべと連携しさらに情報発信に積極的に取り組む。相談窓口やアーティスト支援事業と連携し、文化芸術に関する情報プラットフォーム形成を目指す。

エ 文化ホール公演事業の情報発信強化

神戸文化ホールの情報発信機能として、情報誌「ほーるめいと」を発行（15,000部／隔月）する。また SNS を活用したメールマガジン、Facebook、X での発信や、ホームページの内容の充実など若い職員の意見を取り入れながら発展させていく。

オ 広報 PR の強化

財団事業を総合的かつ横断的にプロモーションし、公演の入場者数や入場料収入の増加につなげていく。

また、登用した幹部職員の全国的なネットワークを活用し、マスコミへ各種資料提供を行うなど情報発信に積極的に取り組む。

⑥ 神戸文化ホール貸館・管理事業

ア 事業方針

- ・弾力的なホール運営と専門性の高いサービスの提供
- ・施設利用者、来館者の意見を反映したホール運営
- ・文化の発信拠点として地元芸術団体・若手芸術家を支援
- ・基幹ホールにふさわしい安全・安心な管理運営

イ 事業内容

(ア) 弾力的なホール運営と専門性の高いサービスの提供

年中無休、早朝仕込み・深夜撤収など、ニーズに応じた弾力的な運用を継続する。また、舞台スタッフによる専門性の高い舞台運営、ホスピタリティ溢れるホール運営で利用者をサポートする。

(イ) 施設利用者、来館者の意見を反映したホール運営

利用後のアンケート等でいただいたご意見・ご要望をもとに、ホール運営全般の改善に努める。

(ウ) 文化の発信拠点として地元芸術団体・若手芸術家を支援、広域からのホール利用の促進

抽選会における優先利用制度や練習利用の割引料金制度による地元芸術団体、若手芸術家の活動支援を継続する。また、メールを用いた事前受付制の抽選会を継続して実施することで、遠方の利用希望者のホール利用のアクセシビリティを向上させる。

(エ) 基幹ホールにふさわしい安全・安心な管理運営

設備全般にわたる日常的な点検の実施、不良箇所への速やかな対処に努め、神戸市の公共基幹ホールにふさわしい安全・安心な管理運営を行なう。

また、キャッシュレス決済（電子マネー）で利用料金やチケット代金の支払いが可能となる電子精算機器の整備や、ホールでのインターネット配信等のため光回線利用設備を整備、非接触で入場を可能とするスマートゲートの導入により利用者にとってより使いやすくなるサービスと設備を引き続き提供する。

(2) 新開地アートひろば

① 新開地アートひろば事業

ア 事業方針

- ・文化芸術を軸とした地域の活性化と賑わいづくり
- ・子育て世代をはじめ、幅広い人々が集う、地域にひらかれた文化活動拠点
- ・継続したアーティストの育成・支援
- ・市内外の文化施設や教育機関、財団のネットワークを活用した交流や連携の強化
- ・実施事業の評価・リサーチ・研修による事業向上及び人材育成

イ 事業内容

(ア) 創造発信・地域活性化・施設活用事業

アーティストとの協働による創造的プログラムを通年にわたり計画・実施する。

様々なジャンルのアーティストを起用して事業を展開、幅広い世代に向けた鑑賞・参加型イベントのほか、毎月ワークショップを実施することで地域の文化活動拠点を目指す。

事業名：「ニューあそび場の創造」「月イチワークショップ（仮）」

(イ) アーティスト育成・支援事業

次代を担う若手芸術家の育成プログラムの他、アーティストの創作活動や発表の場の提供を行う。長期的にアーティストを支援する仕組み作りや、文化芸術活動に携わる様々な人に向けた育成支援事業を展開し、アートファンの裾野を広げることを目的とする。

事業名：「Go!Go! High school Project」、「アーティストサポートプログラム」

(ウ) プログラム連携・構築事業

市内文化施設（KIITO、C.A.P、ファッション美術館等）との連携プログラムの他、トライやるウィークや新開地周辺地域との連携プログラムの実施。

事業名：「Marching KOBE」「各種提携・共催事業（未定）」

ウ 令和6年度 新開地アートひろば事業一覧

(単位：人)

事業名	開催時期	公演数	開催場所	入場者数
創造発信、地域活性化・施設活用事業	7事業	87	公演/日間	8,700
1 ニューあそび場の創造「to R mansion」	6月	5	ホール、lroom、てててパーク	2,000
2 ニューあそび場の創造「新開地おぼけひろば」	7月・8月	30	ギャラリー、ホール、lroom、てててパーク	4,000
3 ニューあそび場の創造「野原万里江(タイトル未定)」	12月	30	ギャラリー、ホール、lroom、てててパーク	1,000
4 ニューあそび場の創造「(タイトル未定)」	1～3月	10	ホール他	1,000
5 月イチワークショップ(てててパーク)	通年	4	てててパーク	500
6 月イチワークショップ(シルクスクリーン)	通年	4	アトリエ	100
7 月イチワークショップ(地域活用)	通年	4	新開地周辺	100
アーティスト育成・支援事業	2事業	21	日間	205
1 Go!Go!High school Project 2024	7/6(土)～8/18(日)	20	ホール	200
2 アーティストサポートプログラム	通年	1	アトリエ	5
プログラム連携・ネットワーク構築事業	2事業			200
1 Marching KOBE、トライやるウィークほか	通年	-	神戸市内	100
2 各種提携・共催事業	通年	-	新開地アートひろば	100
その他事業	2事業	12	日間	5,200
1 新開地ジャズヴォーカルクイーンコンテスト・音楽祭	5/11(土)、12(日)	2	ホール	200
2 土曜マルシェ	毎月第2土曜日	10	lroom	5,000
新開地アートひろば自主事業合計	13事業	120	公演/日間	14,305

② 情報発信

情報発信機能を充実、強化するため、チラシやホームページ、SNS など幅広い広報PRに努めると共に、子ども向けのイベント情報ツール(すぐーる等)を活用し広報活動を実施する。

③ 新開地アートひろば貸館・管理事業

ア 事業方針

- ・ 条例・規則に基づいた公平・公正なサービスの提供
- ・ 利用者が安全・安心・快適に利用できる貸館運営・利用者対応
- ・ 市民の芸術文化活動の促進・誘致
- ・ 利便性の向上と芸術文化活動への協力

イ 事業内容

(ア) 条例・規則に基づいた公平・公正な貸館サービスの提供

条例規則をスタッフ全員が理解し、「新開地アートひろば管理規定」に沿った運営を行うことで、職員間でのサービスの質に差が生じない、恒常的に安定したサービスを提供する。

(イ) 利用者が安全・安心・快適に利用できる貸館運営・利用者対応

「練習施設」と「発表施設」の用途に即したサポート体制を整え、利用者のニーズに応えることで、また利用したいと思える安心感・快適性を提供する。また、幼児向けスペースや1階オープンエリアでは、職員が駆け付け可能な体制の整備により、安全性の確保を行う。

(ウ) 市民の芸術文化活動の促進・誘致

前年に引き続き、アトリエ専門担当者の配置により、利用率の向上促進を継続する。また、リニューアルによる1階スペースの賑わいを、知名度の向上に結び付けることで、新規利用客の獲得に取り組む。

(エ) 利便性の向上と芸術文化活動への協力

練習施設の予約のオンライン化を進め、施設利用の利便性を向上させる。また、職員が1階に常駐することによる利便性の確保と、文化芸術関連の情報発信のスペースの整備により、市民の芸術文化活動の後押しと拡がりに貢献する。

(3) 各区文化センター

① 文化センター講座・地域連携事業

ア 事業方針

- ・「地域住民とともに歩む文化センター」として市民の文化活動ニーズに対応、講座事業や地域連携事業の実施
- ・子育て世代、子ども対象に参加しやすい料金設定でのイベント、講座を増やす
- ・作品展示会・発表会の実施
- ・「多文化共生」をテーマにした事業実施
- ・財団が有する文化事業運営ノウハウや、文化団体との人的ネットワークを活用

イ 事業内容

(ア) 講座事業

入門者・初心者対象の文化・教養・スポーツなどの講座を、新規に学びたい方にも試みやすい3ヶ月単位の期間（春季・夏季・秋季・冬季）に令和2年度に変更した。神戸市内の他大手カルチャースクールが事業撤退あるいは縮小していく最近の状況下でも着実に講座事業を継続し文化活動を楽しんでいただけるよう引き続き運営していく。また、一部センターでは引き続き、オンライン講座を継続して実施する。

(イ) 地域連携事業（地域住民参加型のイベント及び地域文化活性化事業）

各センターの特色を生かした住民参加型の事業に取り組むとともに、「農村歌舞伎」や「須磨琴」など地域の伝統文化や歴史を生かした事業を実施する。令和2年度より指定管理となった旧勤労市民センターを中心に、市の文化財課や博物館との連携事業を多数展開した実績を踏まえて、今年度も文化振興に関わる他施設との連携を強化していく。

また地域文化活性化事業として、従来の伝統文化や歴史を生かした事業に加え、神戸にゆかりのある音楽家や落語家を迎えた公演等、今まで以上に色彩豊かな事業展開を行っていく。

令和6年度は、文化庁の伝統文化親子教室事業（地域展開型）に応募し、書の芸術祭や農村歌舞伎、須磨琴等、各地域で伝統文化親子教室事業（教室実施型）を実施している教室と連携した事業を実施していく。

(ウ) 作品展示会・発表会

文化センターのギャラリーやロビー、ホールにおいて、講座受講生をはじめとする市民の絵画、陶芸、写真などの作品展示会や舞踊、音楽等の発表会を実施する。

(エ) 「多文化共生」をテーマにした事業実施

神戸市が中央区文化センターの事業目標として掲げている「多文化共生」に即し、中央区文化センターを中心に外国人アーティストによる事業を実施する。神戸市在住のイタリア人ヴァイオリニストを中心とした海外アーティストのミニコンサートを中央区文化センターにおいて開催する。

ウ 令和6年度文化センター事業一覧

(単位：人)

事業名	開催時期	開催場所	入場者数
文化センター共通事業			
市民の第九2024	12/7	神戸文化ホール	1,200
地域文化活性化事業			
七夕コンサート	7/7	東灘区文化センター	450
書の芸術祭	7/13	東灘区文化センター	400
子供お楽しみ劇場	7/20	東灘区文化センター	300
親子で楽しむジャズコンサート	10/6	東灘区文化センター	300
文化センター音楽祭	12/15	東灘区文化センター	300
定例講座発表会	3/20	東灘区文化センター	500
民踊春祭り（灘区民ホールにて）	5/19	灘区文化センター	300
博物館セミナー	6/15	灘区文化センター	100
灘区コーラスの集い（灘区民ホールにて）	6/28	灘区文化センター	300
美術館連携セミナー	7月	灘区文化センター	100
CS親子イベント	8月	灘区文化センター	150
美術館連携セミナー	9月	灘区文化センター	100
博物館セミナー	11/30	灘区文化センター	100
定例講座発表会（うはらホールにて）	10/30	灘区文化センター	300
マウロ・イウラート定期演奏会	5/26	中央区文化センター	100
アマチュアクラシックフェスティバル	8/4	中央区文化センター	100
こどもワークショップ 大きな絵を描こう	8/7	中央区文化センター	100
マウロ・イウラート定期演奏会	10/6	中央区文化センター	100
ランチタイムコンサート	10/10	中央区文化センター	100
イブニングタイムコンサート	11/28	中央区文化センター	100
マウロ・イウラート定期演奏会	12/8	中央区文化センター	100
マウロ・イウラート定期演奏会	3/2	中央区文化センター	100
ニューイヤーコンサート	1/19	中央区文化センター	100
博物館連携セミナー	9/28	兵庫区文化センター	400
兵庫オータムフェスタ	10/26	兵庫区文化センター	100
博物館連携セミナー	11/30	兵庫区文化センター	100
母親コーラス	7/13	北区文化センター	300
農村歌舞伎	7/20	北区文化センター	300

サマータイムコンサート（地域の中学校・高校）	8/24	北区文化センター	300
KOIKINIシャンソン	9/7	北区文化センター	300
すずらんホールコンサート	11/10	北区文化センター	300
すずらん音楽コンサート	11/30	北区文化センター	300
バレンタインコンサート	2/11	北区文化センター	300
北区音楽協会きさらぎコンサート	2/23	北区文化センター	300
定例講座発表会	3/9	北区文化センター	300
ありまホール映画サロン	5/18	北神区文化センター	100
北神ジャズライブ	6/9	北神区文化センター	150
北神ふれあい演芸会	7/14	北神区文化センター	150
ありまホール映画サロン 夏休み子供大会	8/3	北神区文化センター	300
神戸音楽家協会コンサート	8/25	北神区文化センター	300
北神オータムフェスタ	10/5	北神区文化センター	300
Special Jazz Live	10/27	北神区文化センター	300
クリスマスコンサート	12/14	北神区文化センター	300
新春おたのしみ会	1/12	北神区文化センター	300
ベンチャーズサウンド・コンサート	1/19	北神区文化センター	300
シャンソングムール	3/8	北神区文化センター	300
みんなでわいわいチャリティーコンサート	3/9	北神区文化センター	300
定例講座発表会 1	3/15	北神区文化センター	300
定例講座発表会 2	3/16	北神区文化センター	300
県警音楽隊コンサート	6/14	長田区文化センター	300
ローゼズフェスティバル	9/29	長田区文化センター	400
長田わいわいステージショー	11/9	長田区文化センター	300
サルビアフェスティバル	3/1	長田区文化センター	300
田辺真人 歴史講演会	3/12	長田区文化センター	200
スプリングコンサート	4/21	須磨区文化センター	150
須磨区民寄席	5/26	須磨区文化センター	150
サマーコンサート	7/14	須磨区文化センター	150
室内楽コンサート	9/8	須磨区文化センター	150
母親コーラス	9/26	須磨区文化センター	150
須磨の歴史	10/20	須磨区文化センター	150
クリスマスコンサート	12/8	須磨区文化センター	150
0才からのコンサート	12/15	須磨区文化センター	150
須磨区民寄席	1/19	須磨区文化センター	150

ウインターコンサート	2/2	須磨区文化センター	150
神戸女子大コンサート	2/16	須磨区文化センター	150
定例講座発表会	3/16	須磨区文化センター	150
親子・ペアでアフタヌーンティーコンサート	8/24	北須磨文化センター	100
ジャズワインコンサート	10/5	北須磨文化センター	100
ハロウィンまつり	10/1-11/26	北須磨文化センター	700
定例講座発表会	3/22	北須磨文化センター	100
区民の音楽の広場	5/19	垂水区文化センター	300
垂水声楽アンサンブルコンサート	7月	垂水区文化センター	150
こどものためのコンサート	8月	垂水区文化センター	300
フェニックスコンサート	11月	垂水区文化センター	300
ゼラニウムフェスティバル	11月	垂水区文化センター	300
響けハーモニー	11月	垂水区文化センター	300
定例講座発表会	3月	垂水区文化センター	300
なでしこ月曜シネマ	4/8	西区文化センター	300
なでしこ月曜シネマ	6/10	西区文化センター	300
西区合唱の集い	7/21	西区文化センター	300
ユースステーション夏祭り	8/2	西区文化センター	300
サマーピアノコンサート	8/4	西区文化センター	300
なでしこ月曜シネマ	8/12	西区文化センター	300
こども農村歌舞伎	9/14, 15	西区文化センター	500
ジャズ イン セイシン	9/22	西区文化センター	300
ハロウィンコンサート	10/13	西区文化センター	200
なでしこ月曜シネマ	10/14	西区文化センター	300
趣味の集い	10/20	西区文化センター	300
なでしこ寄席	11/23	西区文化センター	200
なでしこ月曜シネマ	12/9	西区文化センター	200
みんなで歌おう クリスマスコンサート	12/15	西区文化センター	300
シャンソン教室発表会	2/15	西区文化センター	300
なでしこまつり	2/23	西区文化センター	200
定例講座発表会	3/8	西区文化センター	500
事業合計			24,150

② 神戸市室内管弦楽団・神戸市混声合唱団

ア 事業方針

- ・各区文化センターにおける質の高い演奏の提供

イ 事業内容

各区文化センターにおいて、令和4年度から新たにスタートした神戸市室内管弦楽団による、安価な料金で休憩なし60分以内の企画を継続する。公演後にはトークなどの交流プログラムを実施するほか、定期演奏会で取り上げないような作品、出演者の組み合わせを積極的に試み、市民に新しい音楽体験を届ける。

令和6年度神戸市室内管弦楽団・神戸市混声合唱団事業一覧（文化センター関連）

（単位：人）

事業名		開催時期	公演数	開催場所	入場者数
室内	セレクション Vol.5 「The Winds!」	7/13	1	長田区文化センター別館 ビフレホール	300
	セレクションVol.6 「プラハへの愛」	3/1	1	東灘区文化センター うはらホール	500
混声	あなたに贈るコンサート 「神戸・兵庫ゆかりの歌」	6/2	1	長田区文化センター別館 ビフレホール	282
	オペラ《ファルスタッフ》への招待(仮称)	11/3	1	東灘区文化センター うはらホール	500
	阪神・淡路大震災30年メモリアル コンサート	1/17	1	東灘区文化センター うはらホール	500
自主公演合計					2,082

③ 文化振興事業

ア 事業方針

- ・市民のくらしに芸術文化を根づかせる取り組み

イ 事業内容

市民による芸術文化活動の発表機会を創出するため、「シャンソン・ポピュレールコンクール（神戸大会）」等を企画していく。

令和6年度文化振興課事業事業一覧（文化センター関連）

（単位：人）

事業名	開催時期	開催場所	入場者数
こうべ文化芸術相談窓口 センター関連企画 （コンサート・ワークショップ・アート展示等）	年度前半で公募 年度後半で実施	各文化センター	500
全日本シャンソン・ポピュラーコンクール （神戸大会）	6/1	長田区文化センター別館 ピフレホール	143
全日本シャンソン・ポピュラーコンクール （セミファイナル）	8/3	長田区文化センター別館 ピフレホール	150
母親コーラス「モーブガレット交歓会」	12/5, 6	長田区文化センター別館 ピフレホール	800
神戸三曲協会独奏会	3/16	東灘区文化センター うはらホール	200
文化振興事業合計			1,793

④ 情報発信

文化センターの情報発信機能の充実を図るため、チラシやホームページでの情報提供のほか、ポスティング、文化センターだよりの発行、友の会運営に取り組むとともに SNS を積極的に活用していく。

⑤ 文化センター貸館・管理事業

ア 事業方針

- ・料金割引制度や利用団体への広報・相談サポートと積極的な広報活動による利用促進
- ・長年培ったノウハウの活用による、安全・安心で快適な利用環境の提供
- ・市立の貸館施設として、公的機関及び団体に研修・会合・健診等の誘致活動を実施
- ・財団が運営する定例講座とは別に、利用率の低い貸室を市民の「教えたて」ニーズ対応として貸館利用で講師が、一定期間講座を開設することで、市民の「学びたい」ニーズにも応え、利用率改善にもつなげる
- ・多くの市有施設を一体管理する新貸館システム「あじさいネット」を令和5年度から導入、引き続き、利用者の利便性の向上につなげていく。

イ 事業内容

（ア）サービスと利便性の向上

例：休館日の祝日開館、インターネット予約受付、インターネット無料接続サービスの提供、利用料金の割引対象拡充、利用料金等のキャッシュレス決済の導入
市有施設利用申し込み一体管理システム（あじさいネット）導入など

（イ）地域文化団体との連携強化による情報発信や運営サポート支援

例：地域文化団体の利用料金割引拡充、貸館利用団体専用掲示板設置など

（ウ）積極的な貸館セールス

例：「文化センターだよりの発行」、「友の会」・ホームページの活用
入口付近設置の大型ディスプレイによる、空室状況の掲示

（エ）省エネルギーや環境を意識した設備管理

例：節電、環境保護の取り組みの日常業務への組み入れ

収益事業

(1) 神戸文化ホール貸館・管理事業

神戸文化ホールにおいて、コンベンションなど文化活動以外を目的とする活動の場の提供を図る。また自動販売機設置や駐車場など神戸文化ホール利用者へのサービス向上を行う。

※施設概要	大ホール	: 2043 席
	中ホール	: 904 席
	リハーサル室	: 150 名
	練習室 1～5	: 15 名～150 名
	多目的室・特別控室	
	自動販売機	: 7 台
	駐車場（神戸文化ホール練習場）	: 10 台

(2) 新開地アートひろば貸館・管理事業

子育て世代をはじめ、幅広い人々が集う地域に開かれた施設を目指す。特に1階は、子ども向けスペースや、飲食店舗「はっちゃんの台所」など、充実したオープンスペースにより、利用者が気軽に立ち寄り、集いやすいスペースとしての運営を図ること、来館人数と知名度のを向上を目指し、収益に繋げる。

※施設概要	多目的ホール	: 232 席
	ギャラリー	: 129 m ²
	リハーサル室 1～2	: 120 m ² ～189 m ²
	会議室 1～2、スタジオ 1～3、1room 等	
	てててパーク	: 88 m ²
	自動販売機	: 2 台

(3) 文化センター講座・地域連携事業

当財団が指定管理者として管理運営する文化センターにおいて、健康・スポーツなどの文化振興目的以外で利用者ニーズの高い講座や自主事業を開催する。

※例	講座	: 健康体操、スポーツ吹矢、バドミントン、卓球、水泳など
	自主事業	: コミュニティフェスティバル、卓球大会など

(4) 文化センター貸館・管理事業

指定管理者である文化センターにおいて、イベントなど文化活動以外を目的とする活動の場を提供する。また自動販売機設置や駐車場等文化センター利用者へのサービス向上を行う。

※施設概要	大ホール、体育施設、プール	
	会議室、多目的室	
	和室・音楽室・美術室・陶芸室等	
	自動販売機	: 34 台
	駐車場（北神区文化センター）	: 123 台

法人運営全体に関わる事業

(1) 専門性の強化・効率的な執行体制の構築

芸術文化事業についての研修等の充実を図り、職員の知識の向上及び専門性の強化など人材育成に努めるとともに、優秀な職員を固有職員として登用する。

職員研修を充実させ、職員に基礎実務研修や専門家を招聘した特別講義等を定期的
に開催し、人材育成プログラムの充実を図っている。

令和3年度から、経験豊富な人材を積極的に登用し新文化ホールを見据えた演奏事業、文化ホール事業の強化を行うほか、イベント運営のノウハウ修得も目指し「六甲ミーツ・アート芸術散歩」の事務局を担う六甲山観光株式会社への人的支援を引き続き実施する。

(2) 経営の安定化

「中期経営計画 2026」で定める目標の実現に向け、事業を着実に実施していくためには、経営の安定が必須であることから、事業収入の確保のほか、公的及び民間団体からの助成金の獲得、税制優遇制度を活用した寄附など外部資金の獲得に向けて、これまで以上に力を入れて取り組む。

また、当財団事業について、改めて再構築の観点から徹底的な見直しを進めていくとともに、令和3年度よりセグメント会計を導入し、事業部毎の独立採算を目指している。

平成30年7月に地元経済界が立ち上げた芸術文化を支援する「神戸文化マザーポートクラブ」の事務局を当財団が担うことで、芸術文化界と地元経済界のつなぎ役を担うとともに、当財団としても経済界との関係を深め、当財団に対する企業協賛等支援の獲得を目指していく。

3 経営改善の取り組み

令和3年1月に策定された神戸市の「神戸市文化芸術推進ビジョン」や神戸市が提示したミッションを踏まえ、当財団においても、令和4年度から令和8年度を計画期間とする「中期経営計画2026」を策定した。

令和9年度頃の工事完了に向け整備が進められている新・神戸文化ホール大ホールの運営を担いうる実力を備えるため、本計画の着実な遂行とともに下記の経営改善を進めていく。

(1) 集客及び利用の促進

①公演等事業

神戸文化ホールが、令和5年で開館50周年という大きな節目の年を迎えることを踏まえ、令和5年度より「神戸文化ホール開館50周年記念事業 Creating in Kobe | 神戸で創る」を3年間に渡り行っている。神戸市混声合唱団・神戸市室内管弦楽団の総力を結集し、企画・立案・稽古・本番までの全工程を神戸で完結させるヴェルディ：オペラ「ファルスタッフ」をはじめ、「劇場讃歌」をテーマに様々な事業を実施する。

こうした取り組みにより、良質で特色のある芸術文化プログラムを市民に提供するという劇場法の趣旨を達成していく。

また、公演等の広報に関して、マスコミとの関係強化による公演情報の記事化等、経験豊富な人材を活用した戦略的広報を実施していく。

②新開地アートひろば

神戸アートビレッジセンター(KAVC)は、子どもをはじめとするあらゆる世代の人々の交流できる場を目指し、新開地アートひろばとして令和5年度より、リニューアルオープンした。

1階スペースを中心に施設を『あそび場』として捉え、毎月多彩なジャンルのアーティストと協働し、体験から鑑賞まで様々な形で文化芸術を通じたあそびに触れることが出来る事業を実施することで、これまで以上に地域の人々をはじめ、気軽に立寄りやすい施設を目指す。

③貸館利用

文化センターにおいて、利用団体への営業活動を強化するなど利用率の向上に取り組む。

また、神戸文化ホールにおいて、舞台技術などに関する専門的かつ的確なアドバイスにより、利用者が行う舞台表現のレベル向上に貢献する等、利用者の満足度向上を図り、リピーター確保に繋げていく。

④新たな観客等の獲得

「神戸文化ホールウェルカムジャンボリー」や「こどもコンサート」等を実施し、子育て世代等、日頃ホールに足を運ぶ機会が少ない、新たな観客が文化芸術に触れる機会を生み出す。

(2) 経営基盤の強化

①人材の養成

文化芸術分野の経験豊富な人材等を活用し、実践的な講座を活用した研修や他館と連携した事業を実施することで、財団職員の企画・制作力の向上に取り組む。

②外部資金の積極的獲得

財政基盤を安定させるため、文化庁を始めとする外部助成金の必要性が更に増している。また、民間団体の有する助成制度や企業協賛金など、多様な資金調達手段の開拓が不可欠である。経験豊富な人材の知見やネットワークも最大限活用し、外部資金の積極的な獲得に取り組む。

<中期経営計画 2026 に基づく具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）>

【神戸からの創造・発信を行う】

KPI	令和5年度より企画・政策及び発信型事業年1演目以上実施
	他館連携型の事業の企画・実施 年1回以上
	文化センター、新開地アートひろばで行われる公演のうち、その発展性を見込んで文化ホールでの開催に移行するものの選定 年1回以上
	相談窓口利用者の発展的活動展開 利用者の70%以上

【地域社会の絆をつなぐ】

KPI	公演におけるバリアフリーへの工夫 自主事業毎に1つ以上
	社会包摂型の自主事業 年に1回以上
	多文化共生を目指す自主・共催事業等 年に1回以上
	C情報フォロワー数1万人以上
	各文化センターにて地域文化活性化事業を実施 年3回以上
	講座参加者数20%増（対令和3年度比。講師主催講座含む。）

【くらしと芸術文化をつなぐ】

KPI	市民ネットモニターアンケート「過去1年間で芸術文化を鑑賞した人の割合（絵画・音楽・演劇・映画・ダンス等）80%以上
	敷居を下げた参加しやすい自主事業の企画、継続実施 年に5回以上
	異分野との連携による事業の企画・実施 年1回以上

【学ぶ、トライするを支える】

KPI	アートマネジメント人材養成事業への参加者 年100人以上
	新たな市民を呼び込む事業数 年30回以上
	講座参加者数20%増（再掲）
	市内小学生が実演芸術を経験する 小学校期間中に1回以上

【経営を安定化する】

KPI	助成金の新規申請及び獲得 毎年度新規1件以上増
	一般正味財産が必要とされる充当額を毎年度下回らない
	財政・経理に関する職員研修 毎年度1回以上
	常勤役員を除く、課長級以上の市出向職員の比率40%以下

4 令和6年度予算

(1) 事業別収支予算書

(令和6年4月1日～令和7年3月31日, 単位: 千円)

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
公益目的事業会計	2,046,788	公益目的事業会計	2,066,525
文化振興事業収入	42,891	文化振興事業支出	44,020
演奏事業関係収入	238,454	演奏事業関係支出	240,617
フルートコンクール事業収入	26,622	フルートコンクール事業支出	26,622
営業企画収入	4,600	営業企画支出	7,230
文化ホール公演事業収入	99,315	文化ホール公演事業支出	109,063
文化ホール貸館・管理事業収入	288,158	文化ホール貸館・管理事業支出	288,158
新開地アートひろば公演事業収入	11,260	新開地アートひろば公演事業支出	11,260
新開地アートひろば貸館・管理事業収入	133,754	新開地アートひろば貸館・管理事業支出	140,062
文化センター講座等事業収入	364,961	文化センター講座等事業支出	337,767
文化センター貸館・管理事業収入	792,495	文化センター貸館・管理事業支出	781,178
50周年記念事業収入	44,278	50周年記念事業支出	80,548
収益事業等会計	762,204	収益事業等会計	766,384
文化ホール貸館・管理事業収入	43,821	文化ホール貸館・管理事業支出	43,821
新開地アートひろば貸館・管理事業収入	16,642	新開地アートひろば貸館・管理事業支出	16,257
文化センター講座等事業収入	177,493	文化センター講座等事業支出	170,740
文化センター貸館・管理事業収入	524,248	文化センター貸館・管理支出	535,566
法人会計	86,325	法人会計	101,857
財団管理運営事業収入	86,325	財団管理運営事業支出	101,857
当期収入合計 (A)	2,895,317	当期支出合計 (B)	2,934,766
		当期収支差額 (A) - (B)	△ 39,449

* 神戸市からの収入

- (1) 補助金 351,647千円
- (2) 受託料 1,140,357千円

(2) 予定正味財産増減計算書

(令和6年4月1日～令和7年3月31日, 単位: 千円)

科目	金額	
I 一般正味財産増減の部		
1. 経常増減の部		
(1) 経常収益		
基本財産受取利息	335	
文化事業収益	630,502	
文化施設等運営収益	0	
文化事業受託収益	0	
管理受託収益	1,337,704	
施設利用料金収益	522,703	
受取補助金等	398,498	
受取寄付金	1,510	
受取利息	0	
雑収入	4,065	
経常収益計		2,895,317
(2) 経常費用		
事業費	2,832,909	
管理費	100,977	
経常費用計		2,933,886
当期経常増減額		△ 38,569
2. 経常外増減の部		
(1) 経常外収益	0	
経常外収益計	0	0
(2) 経常外費用		
経常外費用計		0
税引前当期一般正味財産増減額		△ 38,569
法人税、住民税及び事業税		880
当期一般正味財産増減額		△ 39,449
一般正味財産期首残高		109,632
一般正味財産期末残高		70,183
II 指定正味財産増減の部		
(1) 基本財産運用益		
基本財産受取利息		0
(2) 一般正味財産への振替額		
一般正味財産への振替額		0
当期指定正味財産増減額		0
指定正味財産期首残高		200,000
指定正味財産期末残高		200,000
当期正味財産増減額		△ 39,449
正味財産期首残高		309,632
III 正味財産期末残高		270,183

(3) 予定貸借対照表

(令和7年3月31日現在, 単位: 千円)

科 目	金額	科 目	金額
I 資産の部		II 負債の部	
1. 流動資産		1. 流動負債	
現金	5,079	未払金	272,521
預金	217,514	前受金	143,025
未収金	188,977	預り金	19,589
前払金	1,875	賞与引当金	12,156
預け金	26	流動負債合計	447,291
流動資産合計	413,471		
2. 固定資産		2. 固定負債	
(1) 基本財産		退職給付引当金	13,279
預金	518	固定負債合計	13,279
定期預金	6,910	負債合計	460,570
投資有価証券	209,482		
基本財産合計	216,910	III 正味財産の部	
(2) 特定資産		1. 指定正味財産	
退職給付引当資産	13,279	基本財産	200,000
特定費用準備資金	51,500	指定正味財産合計	200,000
特定資産合計	64,779		
(3) その他固定資産		(うち基本財産への充当額)	(200,000)
什器備品	3,007	2. 一般正味財産	70,183
保証金	32,586	(うち基本財産への充当額)	(16,910)
その他固定資産合計	35,593	(うち特定資産への充当額)	(51,500)
固定資産合計	317,282	正味財産合計	270,183
資産合計	730,753	負債及び正味財産合計	730,753

(4) 事業別予定収入明細書

(令和6年4月1日～令和7年3月31日, 単位: 千円)

科 目	収 入	内 訳							
		事業収入	事業受託収入	指定管理料等 収 入	補助金収入	助成金収入	利用料金収入	寄付金収入	その他収入
公益目的事業会計	2,046,788	453,009	0	899,139	270,332	46,251	376,557	1,500	0
文化振興事業収入	42,891	13,550	0	0	29,341		0	0	0
演奏事業関係収入	238,454	15,958	0	0	194,569	27,927	0	0	0
フルートコンクール事業収入	26,622	4,860	0	0	21,762	0	0	0	0
営業企画収入	4,600	0	0	0	4,600	0	0	0	0
文化ホール公演事業収入	99,315	33,765	0	51,290	10,060	4,200	0	0	0
文化ホール貸館・管理事業収入	288,158	0	0	151,882	0	0	136,276	0	0
新開地アートひろば公演事業収入	11,260	1,260	0	10,000	0	0	0	0	0
新開地アートひろば貸館・管理事業収入	133,754	0	0	120,798	0	0	12,956	0	0
文化センター講座等事業収入	364,961	364,961	0		0	0	0	0	0
文化センター貸館・管理事業収入	792,496	0	0	565,169	0	2	227,325	0	0
50周年記念事業収入	44,277	18,655	0	0	10,000	14,122	0	1,500	0
収益事業等会計	762,204	177,493	0	438,565	0	0	146,146	0	0
文化ホール貸館・管理事業収入	43,821	0	0	23,097	0	0	20,724	0	0
神戸アートビレッジセンター貸館・管理事業収入	16,642	0	0	15,138	0	0	1,504	0	0
文化センター講座等事業収入	177,493	177,493	0	0	0	0	0	0	0
文化センター貸館・管理事業収入	524,248	0	0	400,330	0	0	123,918	0	0
法人会計	86,325	0	0	0	81,315	600	0	10	4,400
財団管理運営事業収入	86,325	0	0	0	81,315	600	0	10	4,400
合 計	2,895,317	630,502	0	1,337,704	351,647	46,851	522,703	1,510	4,400

(5) 事業別予定支出明細書

(令和6年4月1日～令和7年3月31日, 単位: 千円)

科 目	合 計	内 訳	
		人 件 費	物 件 費
公益目的事業会計	2,066,525	320,888	1,745,637
文化振興事業支出	44,020	26,109	17,911
演奏事業関係支出	240,617	53,591	187,026
フルートコンクール事業支出	26,622	15,093	11,529
営業企画課支出	7,230	5,461	1,769
文化ホール関係支出	397,221	58,810	338,411
新開地アートひろば関係支出	151,322	55,977	95,345
文化センター関係支出	1,118,945	105,847	1,013,098
50周年記念事業支出	80,548	0	80,548
収益事業等会計	766,384	81,757	684,627
文化ホール関係支出	43,821	4,458	39,363
新開地アートひろば関係支出	16,257	6,497	9,760
文化センター関係支出	706,306	70,802	635,504
法人会計	101,857	64,743	37,114
財団管理運営事業支出	101,857	64,743	37,114
合 計	2,934,766	467,387	2,467,379

VI 令和5年度主要事業計画・実績比較表

文化センター講座事業（講座受講者数）

施設名	受講者数（人）		
	計画	実績	増減
東灘区文化センター	3,000	3,770	770
灘区文化センター	4,800	6,064	1,264
中央区文化センター	180	229	49
兵庫区文化センター	3,800	4,807	1,007
北区文化センター	3,000	3,696	696
北神区文化センター	4,000	5,015	1,015
長田区文化センター	4,700	5,895	1,195
須磨区文化センター	2,100	2,646	546
北須磨文化センター	4,000	4,953	953
垂水区文化センター	4,700	5,869	1,169
西区文化センター	6,500	8,170	1,670
計	40,780	51,114	10,334

芸術文化事業

事業名	入場者数（人）			
	計画	実績	増減	
文化振興事業	20,310	30,293	9,983	
音楽事業	17,150	26,707	9,557	
	演劇・舞踊事業等	3,160	2,989	△ 171
	その他	—	597	597
演奏事業	23,700	35,947	12,247	
室内管弦楽団公演	4,150	5,842	1,692	
	混声合唱団公演	7,800	14,645	6,845
	合同公演	11,750	15,460	3,710
神戸文化ホール事業	23,758	25,675	1,917	
芸術創造・発信事業	7,200	6,054	△ 1,146	
	教育普及・育成事業	11,708	14,733	3,025
	鑑賞・学習事業	4,850	4,888	38
新開地アートひろば事業	10,587	43,616	33,029	
創造発信・地域活性化事業	7,351	32,190	24,839	
	育成・支援事業	220	231	11
	連携・ネットワーク・その他事業	3,016	11,195	8,179

施設毎入場者

（人）

施設名	計画	実績	増減
神戸文化ホール（練習室含む）	300,000	344,787	44,787
新開地アートひろば ※～R4は神戸アートビレッジセンター	140,000	172,578	32,578
文化センター	2,585,000	1,549,534	△ 1,035,466

VII 主要事業の推移(令和元年度～令和5年度)

文化センター講座事業 (講座受講者数)

施設名	受講者数(人)					
	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	
	実績	実績	実績	実績	実績	対前年比
東灘区文化センター	3,461	1,464	3,214	3,392	3,770	111.1%
灘区文化センター	—	2,340	5,543	5,468	6,064	110.9%
葺合文化センター	1,412	13	62	—	—	—
生田文化会館	2,483	28	64	—	—	—
中央区文化センター	—	—	—	242	229	94.6%
兵庫区文化センター	—	2,027	4,608	4,755	4,807	101.1%
北区文化センター	3,535	1,776	3,814	3,698	3,696	99.9%
北神区文化センター	4,181	1,806	4,417	4,872	5,015	102.9%
長田区文化センター	—	2,667	5,665	5,757	5,895	102.4%
須磨区文化センター	2,380	873	2,501	2,475	2,646	106.9%
北須磨文化センター	—	1,225	5,357	5,766	4,953	85.9%
垂水区文化センター	—	3,298	6,997	5,749	5,869	102.1%
西区民センター	6,724	3,402	7,547	7,494	8,170	109.0%
計	24,176	20,919	49,789	49,668	51,114	102.9%

芸術文化事業

事業名	入場者数(人)					
	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	
	実績	実績	実績	実績	実績	対前年比
文化振興事業	56,998	3,636	10,053	17,106	30,293	177.1%
音楽事業	52,143	3,285	9,470	13,936	26,707	191.6%
演劇・舞踊事業等	3,778	351	583	2,770	2,989	107.9%
その他	105,173	—	—	400	597	149.3%
演奏事業	11,256	6,097	5,856	39,120	35,947	91.9%
室内管弦楽団公演	4,086	4,066	3,047	6,569	5,842	88.9%
混声合唱団公演	5,023	1,098	1,773	16,257	14,645	90.1%
合同公演	2,147	933	1,036	16,294	15,460	94.9%
神戸文化ホール事業	58,010	7,465	18,862	15,525	25,675	165.4%
芸術創造・発信事業	14,741	6,628	13,189	3,960	6,054	152.9%
教育普及・育成事業	18,416	180	1,338	2,014	14,733	731.5%
鑑賞型事業	24,853	657	4,335	9,551	4,888	51.2%
新開地アートひろば※	24,497	22,804	23,134	7,505	43,616	581.2%
創造発信・地域活性化事業					32,190	—
育成・支援事業					231	—
連携・ネットワーク事業					11,195	—

※R4年度までは「神戸アートビレッジセンター」として運営しており、事業が異なるため合計入場者数のみ記載。

施設毎入場者数

(人)

施設名	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	
	実績	実績	実績	実績	実績	対前年比
神戸文化ホール(練習室含む)	457,954	77,994	178,600	296,132	344,787	116.4%
新開地アートひろば ※～R4は神戸アートビレッジセンター	156,441	73,998	109,098	78,933	172,578	218.6%
文化センター	1,259,840	1,067,735	1,618,372	2,042,397	1,549,534	75.9%